

添付資料

## 目 次

添付資料－1 高浜発電所 第3号機 保全計画（第24保全サイクル）

添付資料－1 高浜発電所 第3号機 保全計画（第24保全サイクル）

「1.3 構築物、系統及び機器」に示された発電用原子炉施設に係る点検の実施状況等に関して、「高浜発電所 第3号機 保全計画（第24保全サイクル）」をもとに、点検及び試験の項目、点検頻度等を示す。



高浜発電所 第3号機  
保 全 計 画  
(第24保全サイクル)

## 施設管理の実施に関する計画

# 目 次

1. 施設管理実施計画の始期（定期事業者検査の開始する日をいう。） 及び期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2. 発電用原子炉施設の工事の方法及び時期・・・・・・・・	1
3. 発電用原子炉施設の点検、検査の方法、実施頻度及び時期・・・・・・・・	2
4. 発電用原子炉施設の工事及び点検を実施する際に行う保安の確保のための 措置・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
5. 特別な施設管理実施計画・・・・・・・・	2
6. 施設管理に関する実施体制・・・・・・・・	3

別紙－1：点検計画（第24保全サイクル）

別紙－2：特別な施設管理実施計画

別図：定期事業者検査時の安全管理の計画

参考資料－1：長期保守管理方針実施状況総括表

参考資料－2：施設管理に関する実施体制

1. 施設管理実施計画の始期（定期事業者検査の開始する日をいう。）及び期間

本保全計画の適用期間は、第24回定期事業者検査開始日から次回の定期事業者検査を実施するために発電機を解列する日の前日までの期間（第24回定期事業者検査終了以降13ヶ月までの間※）とし、以降、この期間を第24保全サイクルという。

ただし、この期間内に次回の定期事業者検査を実施するために発電機を解列した場合には、その前日までの期間とする。

※：この間を『実運転期間』という。

2. 発電用原子炉施設の工事等の方法及び時期

(1) 工事の計画

a. 蒸気発生器伝熱管補修工事：設計及び工事の計画の届出

○ 工事概要

蒸気発生器伝熱管の渦流探傷検査の結果、有意な信号指示が認められた場合に、蒸気発生器の健全性を確保するため、メカニカルプラグにて施栓を行う。

○ 予定時期

第24回定期事業者検査期間中

b. 特定重大事故等対処施設設置工事：設計及び工事の計画の認可申請

○ 工事概要

平成24年6月の核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律の改正並びに関連規則等の改正を踏まえ、原子炉補助建屋等への故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムによる重大事故等に対処するために必要な施設の整備を行う。

○ 予定時期

第24回定期事業者検査期間中

c. 高エネルギーアーク損傷対策工事：設計及び工事の計画の認可申請

○ 工事概要

高エネルギーアーク損傷に係る実用発電用原子炉及びその附属設備の技術基準に関する規則等の一部改正に伴い、保護リレー整定値の変更等を行う。

○ 予定時期

第24回定期事業者検査期間中

d. 格納容器サンプル水位伝送器取替工事：設計及び工事の計画の届出

○ 工事概要

製造中止に伴い、格納容器サンプル水位伝送器（2台）を浮力式（フロート式）から差圧式に取り替える。

○ 予定時期

第24回定期事業者検査期間中

### 3. 発電用原子炉施設の点検、検査の方法、実施頻度及び時期

#### (1) 点検計画

定期事業者検査中及びプラント運転中の点検について、あらかじめ保全方式を設定し、点検の方法並びにそれらの実施頻度及び時期を定めた点検計画を「高浜発電所 保守業務所則（平成5高原保所則 第2号）」に基づき策定した「保全指針」に従い策定した。また、土木建築に関する設備の点検計画については、「高浜発電所 土木建築業務所則（平成19高原土所則 第1号）」に従い策定した。

点検計画のうち、定期事業者検査対象機器等に係る主要な点検の計画に基づく点検計画を別紙に記載する。

附帯設備も含めた各機器の詳細な点検計画は、「保全指針」に規定している。

点検計画を策定又は変更するにあたっては、保全活動から得られた情報等から、保全の有効性を評価し、保全が有効に機能していることを確認するとともに、継続的な改善につなげている。なお、保全の有効性評価は、以下の情報を適切に組み合わせて行った。

- ・保全活動管理指標の監視結果
- ・保全データの推移及び経年劣化の長期的な傾向監視の実績
- ・トラブルなど運転経験
- ・定期安全レビュー結果
- ・他プラントのトラブル及び経年劣化傾向に係るデータ
- ・リスク情報、科学的知見

### 4. 発電用原子炉施設の工事及び点検を実施する際に行う保安の確保のための措置

定期事業者検査停止時における保安規定の運転上の制限を遵守するための計画は、別図のとおりである。また、定期事業者検査以外の安全上重要な保守点検活動並びに留意事項等については、特になし。

### 5. 特別な施設管理実施計画

第24回定期事業者検査において、1年以上プラントの運転を停止するにあたり、以下のとおり特別な施設管理実施計画を策定した。

#### a. 特別な施設管理実施計画

- ・プラント停止中の系統・機器については、通常の停止状態又は待機状態で保管対策を行い、必要に応じてパラメータ監視、巡視等を行う。主要設備の保管対策を別紙-2に示す。
- ・点検計画を考慮の上、保管状態、停止期間に応じた追加保全の検討を行い、必要な追加保全を実施する。具体的には、以下の評価方針に基づき検討する。
  - ① プラント停止中の方がプラント運転中と比較して運転条件、使用環境が厳しい構築物、系統及び機器を抽出し、運転条件、使用環境に応じて必要となる保全内容を追加保全として検討する。

② ①以外の構築物、系統及び機器については、第24保全サイクルの前に実施した保全の有効性評価結果を反映した最新の保全計画に基づき、運転中または保管状態での劣化要因の有無を評価し、必要な保全内容を追加保全として検討する。

- ・保管状態、停止期間に応じた再起動による追加的な健全性確認の検討を行い、必要な健全性確認を実施する。

b. 特別な施設管理実施計画に係る実施体制

特別な施設管理実施計画に係る実施体制は、通常の保全と同様「6. 施設管理に関する実施体制」による。

c. 特別な施設管理実施計画の結果の記録管理

特別な施設管理実施計画の結果及び結果の確認・評価を記録し、当該記録の保存期間は、発電用原子炉施設を解体または廃棄した後5年が経過するまでの期間とする。

6. 施設管理に関する実施体制

第24保全サイクルにおける施設管理については、高浜発電所原子炉施設保安規定第4条（保安に関する組織）、第5条（保安に関する職務）に基づく事業者管理体制により実施する。

また、第24保全サイクルの施設管理の実施にあたり、協力会社に役務を調達する場合には、当該点検及び工事に関する作業経験等の技術的要件（力量）も考慮の上、第120条（施設管理計画）に基づき調達要求等を定める「原子力部門における調達管理通達（平成27調原通達 第1号）」の規定に従い調達する。

なお、第24保全サイクルにおいて、協力会社に役務を調達する予定の主要な点検工事等を以下に示す。

- ・ 原子炉容器他主要設備定期点検工事
- ・ 発電機他主要電気設備定期点検工事
- ・ 蒸気発生器細管検査他付帯工事
- ・ タービン主機他一般設備定期点検工事
- ・ 1次系大型モータ他定期点検工事
- ・ 特定重大事故等対処施設設置工事
- ・ 保護リレー整定値修繕工事
- ・ 格納容器サンプ水位計伝送器修繕工事

点 検 計 画  
(第24保全サイクル)

## 点検計画の記載について

1. 点検計画については以下の方針に従い記載している。

(1) 記載している設備について

点検計画には発電所設備の主要機器として、以下設備を対象に記載している。

①核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第43条の3の14に規定する技術基準が適用される設備

a. 定期事業者検査の対象となる設備

b. 実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則別表第2において、設計及び工事の計画に記載が要求されている設備

なお、設計及び工事の計画において仕様が記載されていない設備については、日常の管理の中で健全性が確認でき、かつ、取替が可能な下記のものについて除外する。

(a) 防保護具、現地操作時に用いる工具類

(b) 一般消耗品（電池類他）

(c) 一般産業品（可搬型照明、電話・ファクシミリ他）

② 保全の重要度が高い設備

保全重要度が高い設備とは、以下の設備を指す。

a. 安全機能の重要度が高い設備

b. 供給信頼性重要度が高い設備

c. リスク重要度が高い設備

なお、アクシデントマネジメント（AM）対応設備であることにより、保全の重要度を「高」とした設備については、点検計画において「AM（対応するアクシデントマネジメント名）機器」として明示している。

(2) 記載している点検について

点検計画には上記設備の主要な点検として、以下を記載している。

- ・ 定期事業者検査に係る点検
- ・ 定期事業者検査の都度性能維持のための措置を伴う点検
- ・ 定期事業者検査に係る点検の実施頻度より短い実施頻度で行う性能維持のための措置を伴う点検
- ・ 記載対象設備において、上記に該当する点検が無い設備については主要な点検

上記以外の点検（主要機器の上記条件以外の点検や附帯設備<sup>※1</sup>の点検等）については、「高浜発電所 保守業務所則（平成5高原保所則 第2号）」に基づき策定した「保全指針」及び「高浜発電所 土木建築業務所則（平成19高原土所則 第1号）」に定めている。

※1：附帯設備の例

潤滑油、潤滑水、シール水、冷却設備、電源、制御回路、オリフ  
イス、レデューサ、フローグラス 等



(3) 保全の重要度について

「グレード分け通達(平成18原品証通達第2号)」等の考え方に従い、「高」又は「低」のいずれかで表記している。

なお、重要度「高」及び定期事業者検査対象の設備については、保全方式として予防保全(時間基準保全、状態基準保全)を選定し、事後保全は選定していない。

(4) 保全方式について

保全方式について以下のとおり記載している。

- ・ 時間基準保全を採用しているもの：点検頻度
- ・ 状態基準保全を採用しているもの：CBM
- ・ 事後保全を採用しているもの：BM

(5) 点検頻度について

次の整理により「F」：保全サイクル、「M」：月、「Y」：年で表記している。

- ・ 性能維持のための措置を伴う点検及びそれに伴い実施する点検については、「M」又は「Y」により表記している。なお、記載した頻度のうち「M」は、運転期間(総合負荷性能検査～解列)に対応した値を示している。  
また、複数の機器や複数の点検タスクをまとめて記載した項目については、その点検頻度の最短及び最長のものを記載している。
  - ・ 供用期間中検査のように年度管理するものについては、「Y」により表記している。
  - ・ 機器の分解点検時期に合わせて実施する機能・性能試験については、「B」により表記している。また、その他、性能維持のための措置を伴わない点検のうち、分解・開放点検等の性能維持のための措置を伴う点検と合わせて実施するものについても「B」※2と表記している。なお、回転機器(ポンプ、ファン等)等、本体と駆動部で構成される機器は、一方が分解点検を実施した場合においても、その後の機能・性能試験で本体と駆動部の機能・性能を確認する。
  - ・ これ以外で、性能維持のための措置を伴わない点検については、「F」※2により表記している。また、性能維持のための措置を伴わない点検であっても、当該点検が、プラント運転期間中の発電用原子炉施設の保安の確保に支障がなく、年度管理するものについては、「Y」により表記している。
  - ・ このほか肉厚管理指針に従い管理する肉厚測定は、検査箇所ごとの管理となるため、本表では“肉厚管理指針による”と表記している。
  - ・ 定期的な頻度をもたずに実施する点検については、「X」により表記している。
- ※2：「B」「F」により表記しているものは、基本的に性能維持のための措置を予定していない点検であり、劣化進展がごく軽微なため、分解・開放点検やプラント定期事業者検査停止時期に合わせた実施管理が適しているものを対象にしている。

(6) 点検時期について

- ・時間基準保全の点検については、“施設定検起動後”、“プラント運転中”の表現により、備考欄に実施時期を記載している。なお、これらの記載のないものについては、定期事業者検査停止中に実施することとしている。
- ・プラント停止（定期事業者検査）に先立ち、プラント運転中に実施する定期的な点検を「先行実施」とし、その対象設備を備考欄に明記し、区別する。

(7) 状態監視方法の記載について

- ・保全方式として状態基準保全を用いる機器については、経年劣化事象等による劣化の有無・劣化の傾向を監視する方法（状態監視技術、定例試験、巡視点検等）及びその頻度を備考欄に記載している。
- ・保全方式として時間基準保全を採用している機器については、保全をより充実する観点で採用している状態監視技術について方法・頻度を備考欄に記載している。

なお、第2 4 保全サイクル中に点検を実施するものについては「点検計画」に「○」<sup>※3</sup>を記載している。

また「点検計画」には、当該点検の前回実績（実施時期）<sup>※4</sup>も記載している。

※3：複数の機器や複数の点検タスクをまとめて記載した項目については、本保全サイクルの中に一つでも点検の計画があれば「○」としている。

※4：複数の機器や複数の点検タスクをまとめて記載した項目にあつては、最新実績を記載している。

## 目 次

機器又は系統名	ページ
原子炉本体	1/46
[炉心]	
[原子炉容器]	
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設	1/46
[燃料取扱設備]	
[使用済燃料貯蔵設備]	
[使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備]	
[燃料取替用水設備]	
原子炉冷却系統施設	3/46
[一次冷却材の循環設備]	
[主蒸気・主給水設備]	
[余熱除去設備]	
[非常用炉心冷却設備]	
[化学体積制御設備]	
[蒸気タービンの附属設備]	
[原子炉補機冷却水設備]	
[原子炉補機冷却海水設備]	
[原子炉格納容器内の一次冷却材の漏えいを監視する装置]	
計測制御系統施設	15/46
[制御材]	
[制御棒駆動装置]	
[工学的安全施設等の作動信号]	
[ほう酸注入機能を有する設備]	
[ほう素再生設備]	
[制御用空気設備]	
[その他設備]	
放射性廃棄物の廃棄施設	20/46
[気体、液体又は固体廃棄物処理設備]	
[原子炉格納容器本体外の廃棄物貯蔵設備又は廃棄物処理設備からの液体状の放射性廃棄物の漏えいの検出装置又は自動警報装置]	
放射線管理施設	24/46
[放射線管理用計測装置]	
[生体遮蔽装置]	
[換気設備]	
[その他設備]	
原子炉格納施設	31/46
[原子炉格納容器]	
[圧力低減設備その他の安全設備]	
原子力設備	36/46
[その他設備]	

機器又は系統名	ページ
原子力設備・タービン設備	36/46
[その他設備]	
蒸気タービン	37/46
[車室、円板、隔板、噴口、翼、車軸]	
[調速装置及び非常調速装置並びに調速装置で制御される主要弁]	
[復水器]	
[蒸気タービンに附属する熱交換器]	
[蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備]	
[蒸気タービンに附属する管等]	
[その他設備]	
補助ボイラー	42/46
その他発電用原子炉の附属施設	43/46
[浸水防護施設]	
[常用電源設備]	
[火災防護施設]	
非常用電源設備	44/46
[非常用発電装置]	
[その他の電源装置]	
土木建築設備	46/46
敷地内土木構造物	46/46
プラント総合	46/46
非常用取水設備	46/46
[取水設備]	
補機駆動用燃料設備	46/46
[燃料貯蔵設備]	

- 別表-1：クラス1機器供用期間中検査7年計画  
 別表-2：クラス2機器供用期間中検査10年計画  
 別表-3：クラス3機器供用期間中検査10年計画  
 別表-4：クラス1機器Ni基合金使用部位特別検査7年計画  
 別表-5：クラス2管（原子炉格納容器内）特別検査10年計画  
 別表-6：原子炉格納容器供用期間中検査10年計画  
 別表-7：重大事故クラス2機器供用期間中検査10年計画  
 別表-8：重大事故等クラス3機器供用期間中検査10年計画

1. 点検計画

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する設備診断技術
原子炉本体 〔炉心〕	照射済燃料集合体	※ 1式	高	1F	○	23回	燃料集合体外観検査	※：炉心設計による
	照射済燃料集合体 (取出燃料)	※ 1式	高	1F	○	23回		※：炉心設計による
	燃料集合体	157体	高	1F	○	23回	燃料集合体炉内配置検査	※：炉心設計による
	内挿物 (1) 制御棒クラスタ (2) バーナ燃料ボイゲン (3) プラギングデバイス (4) 2次中性子源	※ 1式	1. 外観点検 (炉内配置)	高	1F	○	23回	燃料集合体炉内配置検査
原子炉本体のうち炉心		1. 機能・性能試験	高	1F	○	23回	原子炉停止余裕検査 炉物理検査	定期事業者検査起動後
原子炉容器		1. 開放点検	高	13M	○	23回		
制御棒クラスタ案内管支持ピン	104本	1. 外観点検	高	3F	○	21回	構造健全性検査	
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔燃料取扱設備〕	燃料移送装置	1式	高	1F	○	23回	燃料取扱装置機能検査	一部先行実施
			1. 機能・性能試験 (リフトイングフレーム) 1. 機能・性能試験	1F	○	23回	燃料取扱設備検査 (動作・インターロック試験等)	
	燃料取替クレーン		2. 分解点検他	39M~195M	○	23回	燃料取扱装置機能検査 燃料取扱設備検査 (動作・インターロック試験等)	先行実施
	使用済燃料ピットクレーン		1. 機能・性能試験 2. 分解点検他	1F	○	23回	燃料取扱装置機能検査 1次系換気空調設備検査 燃料取扱設備検査 (動作・インターロック試験等)	先行実施
新燃料エレベータ		1. 機能・性能試験 2. 分解点検他	39M~195M	○	23回	燃料取扱設備検査 燃料取扱設備検査 (動作・インターロック試験等)	先行実施	
燃料取扱建屋クレーン		1. 機能・性能試験	高	1F	○	23回	燃料取扱設備検査 燃料取扱設備検査 (動作・インターロック試験等)	先行実施
燃料取扱工具	1式	1. 外観点検	高	1F	○	23回	燃料取扱設備検査 (動作・インターロック試験等)	先行実施
		2. 簡易点検 (年次点検)		12M	○	23回		
ウラン・フルトニウム混合酸化物新燃料 取扱装置	1台	1. 機能・性能試験	高	X※	—	22回	燃料取扱設備検査 燃料取扱設備検査 (動作・インターロック試験等)	※MOX新燃料受入時のみ実施 プラント運転中又は定期事業者検査 停止中
		2. 外観点検		X※	—	22回	燃料取扱設備検査 (動作・インターロック試験等)	
燃料仮置ラック		1. 外観点検	高	1F	○	23回	燃料取扱設備検査 (動作・インターロック試験等)	
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設〔燃料取扱設備〕その他機器	1式	1. 分解点検他	高・低	13M~91M	○	23回		一部BMあり 一部プラント運転中

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する設備診断技術)	
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 [使用済燃料貯蔵設備]	事故時監視計器 水位監視計器 温度監視計器 1次系計測制御装置	1. 特性試験 2. 分解点検 (ポンプ) 2. 分解点検 (電動機)	高	13M	○	23回	プラント状態監視設備機能検査	21回施設定検時に設置	
	使用済燃料ビット監視カメラ空冷装置	1. 特性試験	高	13M	○	23回	計測制御系監視設備機能検査	一部21回施設定検時に設置	
	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 [使用済燃料貯蔵設備] その他機器	1. 機能・性能試験	高	13M	○	23回	可搬型重大事故等対処設備機能検査		
	可搬式代替低圧水ポンプ・電動機	3台	1. 機能・性能試験	高	1Y	○	23回	可搬型重大事故等対処設備機能検査	プラント運転中又は定期事業者検査 停止中 21回施設定検時に設置 21回施設定期検査より追加
			2. 分解点検 (ポンプ)		10Y	—	—		
	消防ポンプ	71台	1. 機能・性能試験	高	1Y	○	23回	可搬型重大事故等対処設備機能検査	プラント運転中又は定期事業者検査 停止中 21回施設定検時に設置 21回施設定期検査より追加
			1. 外観・機能点検		6M	○	23回		
	大容量ポンプ (放水砲用)	3台	1. 機能・性能試験	高	1Y	○	23回	可搬型重大事故等対処設備機能検査	プラント運転中又は定期事業者検査 停止中 21回施設定検時に設置 21回施設定期検査より追加
			2. 分解点検		10Y	—	—		
	使用済燃料ビット浄化冷却設備	A 使用済燃料ビットポンプ・電動機 B 使用済燃料ビットポンプ・電動機	1. 機能・性能試験 (ポンプ、電動機含む)	低	1F	○	23回	使用済燃料貯蔵槽冷却浄化系機能検査	
			1. 分解点検 (ポンプ)	低	78M	—	23回	先行実施 (振動診断: 3M)	
			1. 分解点検 (電動機)		CBM	—	12回		
			2. 簡易点検 (潤滑油入替)	13M	○	23回			
1. 分解点検 (ポンプ)			低	78M	○	21回	先行実施 (振動診断: 3M)		
1. 分解点検 (電動機)				CBM	—	13回			
2. 簡易点検 (潤滑油入替)			13M	○	23回				
1. 開放点検			低	130M	—	18回	先行実施		
1. 開放点検				130M	—	19回			
1. 開放点検 (管側)			低	195M	—	18回	先行実施 保全の有効性評価結果No. 1の反映		
1. 開放点検 (管側)				195M	—	18回			
1. 開放点検 (管側)			低	195M	—	21回	先行実施		
2. 非破壊試験				195M	—	18回			
1. 開放点検 (管側)	低	195M	○	17回	1次系熱交換器検査				
1. 開放点検 (管側)		195M	—	17回					
1. 開放点検 (管側)	低	195M	—	21回	先行実施				
2. 非破壊試験		195M	○	17回					
1. 開放点検 (ガスケットパッキン取替)	130M	○	—	—	先行実施 13回施設定検時に設置				

機器又は系統名	実施致（機器名）	点検及び試験の項目	保全の重要度	保安全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回次）	検査名	備考 （○内は適用する設備診断技術）	
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備〕	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設〔使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備〕その他の 弁 用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備〕その他の 弁駆動部 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設〔使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備〕その他機 器 A.燃料取替用水ポンプ・電動機 B.燃料取替用水ポンプ・電動機	1式	高・低	B 130M	—	23回	1次系弁検査	一部先行実施	
		1式	高・低	B 65M 65M	—	23回 23回	1次系弁検査 1次系逆止弁検査 1次系弁検査		
		1式	高 低	10.4M~130M 13M~130M	— ○	23回 23回		一部先行実施 一部BMあり 一部先行実施	
			高	B※ 130M	—	23回		先行実施 1次系ポンプ機能検査	先行実施 (振動診断：3M) ※ポンプまたは電動機の分解点検に 合わせて実施
			高	52M 13M	— ○	23回 23回			
			高	B※ 130M	—	21回		1次系ポンプ機能検査	先行実施 (振動診断：3M) ※ポンプまたは電動機の分解点検に 合わせて実施
			高	52M 13M	— ○	21回 23回			
			高	B 130M	—	22回		1次系弁検査 1次系安全弁検査 1次系弁検査	
			高	B 156M	—	23回		1次系弁検査	
			高 低	10.4M~130M 10.4M~130M	— ○	23回 23回			一部先行実施 一部BMあり 一部先行実施
			高	13M	—	23回		蒸気発生器伝熱管体積検査	
		原子炉冷却系統施設 〔一次冷却材の循環設備〕	A.蒸気発生器 3,272本 B.蒸気発生器 3,248本 1箇所 伝熱管 3,248本 2.開放点検 3.簡易点検（スラッジ レンジグ） 4.簡易点検（ガスケット 取替他） 1.非破壊試験 A.蒸気発生器給水入口管台 1箇所 B.蒸気発生器 3,248本 2.開放点検 3.簡易点検（スラッジ レンジグ） 4.簡易点検（ガスケット 取替他） 1.非破壊試験 B.蒸気発生器給水入口管台 1箇所	1式	高	10Y 13M	—	23回	
	高			13M	○	23回		蒸気発生器伝熱管体積検査	
	高			13M	○	23回			
	高			13M	○	23回			
	高			13M	○	23回			
	高			10Y 13M	—	23回			
	高			13M	○	23回		蒸気発生器伝熱管体積検査	
	高			13M	○	23回			
	高			13M	○	23回			
	高			13M	○	23回			
	高			13M	○	23回			
	高			10Y	—	23回			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回次)	検査名	備考 ( )内は適用する設備(診断技術)		
原子炉冷却系統施設 [一次冷却材の循環設備]	C 蒸気発生器	伝熱管 3, 262本	高	13M	○	23回	蒸気発生器伝熱管体積検査			
									1. 非破壊試験	
									2. 開放点検	
									3. 簡易点検 (スラッジラセンシグ)	
	C 蒸気発生器給水入口管台	1箇所	1. 非破壊試験	高	10Y	-	23回			
										2. 機能・性能試験
										3. 漏えい試験
										3. 分解点検
	加圧器安全弁	3V-RC-055 3V-RC-056 3V-RC-057	1. 機能・性能試験 (駆動部含む) 2. 漏えい試験	高	1F	○	23回	加圧器安全弁機能検査		
										3. 分解点検
	加圧器逃がし弁	3-PCV-454C	1. 機能・性能試験 (駆動部含む) 2. 漏えい試験	高	1F	○	23回	加圧器安全弁分解検査		
										3. 分解点検
	加圧器逃がし弁駆動部	3-PCV-454C	1. 機能・性能試験 (駆動部含む) 2. 漏えい試験	高	1F	○	23回	加圧器逃がし弁機能検査		
										3. 分解点検
	加圧器逃がし弁	3-PCV-455A	1. 機能・性能試験 (駆動部含む) 2. 漏えい試験	高	1F	○	23回	加圧器逃がし弁機能検査		
										3. 分解点検
	加圧器逃がし弁駆動部	3-PCV-455A	1. 機能・性能試験 (駆動部含む) 2. 漏えい試験	高	13M	○	23回	加圧器逃がし弁分解検査		
										3. 分解点検
	加圧器逃がし弁	3-PCV-455B	1. 機能・性能試験 (駆動部含む) 2. 漏えい試験	高	1F	○	23回	加圧器逃がし弁機能検査		
										3. 分解点検
加圧器逃がし弁駆動部	3-PCV-455B	1. 機能・性能試験 (駆動部含む) 2. 漏えい試験	高	13M	○	23回	加圧器逃がし弁分解検査			
									3. 分解点検	
加圧器逃がし弁元弁	3V-RC-054A	1. 機能・性能試験 (駆動部含む) 2. 漏えい試験	高	1F	○	23回	加圧器逃がし弁元弁機能検査			
									3. 分解点検	
加圧器逃がし弁元弁駆動部	3V-RC-054A	1. 機能・性能試験 (駆動部含む) 2. 漏えい試験	高	130M	-	21回				
									3. 分解点検	
加圧器逃がし弁元弁	3V-RC-054B	1. 機能・性能試験 (駆動部含む) 2. 漏えい試験	高	65M	-	23回	加圧器逃がし弁元弁機能検査			
									3. 分解点検	
加圧器逃がし弁元弁駆動部	3V-RC-054B	1. 機能・性能試験 (駆動部含む) 2. 漏えい試験	高	156M	-	21回	加圧器逃がし弁元弁機能検査			
									3. 分解点検	
加圧器逃がし弁元弁駆動部	3V-RC-054B	1. 機能・性能試験 (駆動部含む) 2. 漏えい試験	高	130M	-	22回	加圧器逃がし弁元弁機能検査			
									3. 分解点検	
加圧器逃がし弁元弁駆動部	3V-RC-054B	1. 機能・性能試験 (駆動部含む) 2. 漏えい試験	高	65M	-	22回	加圧器逃がし弁元弁機能検査			
									3. 分解点検	
加圧器逃がし弁元弁駆動部	3V-RC-054B	1. 機能・性能試験 (駆動部含む) 2. 漏えい試験	高	156M	-	21回	加圧器逃がし弁元弁機能検査			
									3. 分解点検	

機器又は系統名	実施致(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回次)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術)
原子炉冷却系統施設 [一次冷却材の循環設備]	加圧器逃がし弁弁 3V-RC-054C	1.機能・性能試験(駆動 適合性)	高	1F	○	23回	加圧器逃がし弁弁機能検査	
		2.分解点検		130M	-	22回		
		3.簡易点検(グラウンド パッキン取替)		65M	-	22回		
		1.機能点検	高	156M	-	21回		
		2.分解点検(ポンプ)	高	1F	○	23回	1次冷却材ポンプ機能検査	一部定期事業者検査起動後
		2.分解点検(電動機)		130M	-	23回		
		2.分解点検(メカニカル シール)		104M	-	23回		
		2.分解点検(メカニカル シール)		13M	○	23回	1次冷却材ポンプメカニカルシール分解 検査	一部先行実施
		2.分解点検(フライホ イール)		104M	-	23回		
		3.簡易点検(潤滑油入 替)		26M	-	23回		
	B 1次冷却材ポンプ・電動機	1.機能・性能試験	高	1F	○	23回	1次冷却材ポンプ機能検査	一部定期事業者検査起動後
		2.分解点検(ポンプ)		130M	○	14回		
		2.分解点検(電動機)		104M	-	22回		
		2.分解点検(メカニカル シール)		13M	○	23回	1次冷却材ポンプメカニカルシール分解 検査	一部先行実施
		2.分解点検(フライホ イール)		104M	-	22回		
		3.簡易点検(潤滑油入 替)		26M	○	22回		
		1.機能・性能試験	高	1F	○	23回	1次冷却材ポンプ機能検査	一部定期事業者検査起動後
		2.分解点検(ポンプ)		130M	-	21回		
		2.分解点検(電動機)		104M	-	20回		
		2.分解点検(メカニカル シール)		13M	○	23回	1次冷却材ポンプメカニカルシール分解 検査	一部先行実施
加圧器	C 1次冷却材ポンプ・電動機	1.機能・性能試験	高	1F	○	23回	1次冷却材ポンプ機能検査	一部定期事業者検査起動後
		2.分解点検(ポンプ)		130M	-	21回		
		2.分解点検(電動機)		104M	-	20回		
		2.分解点検(メカニカル シール)		13M	○	23回	1次冷却材ポンプメカニカルシール分解 検査	一部先行実施
		2.分解点検(フライホ イール)		104M	-	20回		
		3.簡易点検(潤滑油入 替)		26M	○	22回		
		1.開放点検	高	39M	-	23回		
		2.簡易点検(マンホール ガスケット取替)		13M	○	23回		
		1.機能・性能試験	高	B	○	22回	1次系弁検査	
		2.分解点検		26M	○	22回	1次系弁検査 1次系逆止弁検査 1次系弁検査	
原子炉冷却系統施設 [一次冷却材の循環 設備] その他の弁	加圧器	1.機能・性能試験	高	B	○	23回		
		2.分解点検		13M	○	23回		
		3.簡易点検(特性試験 他)		13M	○	23回		
		1.分解点検他	高	65M~260M	○	23回		
		1.分解点検他	低	52M~260M	○	23回		一部BMあり
		1.分解点検他						
		1.分解点検他						
		1.分解点検他						
		1.分解点検他						
		1.分解点検他						



機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回次)	検査名	備考 ( )内は適用する 設備診断技術)
原子炉冷却系統施設 〔主蒸気・主給水設備〕	主蒸気安全弁	3V-MS-526A	高	IF	○	23回	主蒸気安全弁機能検査	
		3V-MS-527A		B	○	22回		
		3V-MS-528A		26M	○	22回		
		3V-MS-529A						
		3V-MS-530A						
		3V-MS-531A						
		3V-MS-532A						
		3V-MS-526C						
		3V-MS-527C						
		3V-MS-528C						
		3V-MS-529C						
		3V-MS-526B						
	3V-MS-527B							
	3V-MS-528B							
	3V-MS-529B							
	3V-MS-530B							
	3V-MS-531B							
	3V-MS-532B							
	3V-MS-530C							
	3V-MS-531C							
3V-MS-532C								
主蒸気逃がし弁	3-PCV-3610	1.機能・性能試験(駆動部含む)	高	IF	○	23回	主蒸気逃がし弁機能検査 最終ヒートシロッキング熱輸送設備作動検査は21回施設定期検査より追加	
	3-PCV-3620	2.漏えい試験						
	3-PCV-3630	3.分解点検						
主蒸気逃がし弁駆動部	3-PCV-3610	1.分解点検	高	13M	○	23回		
	3-PCV-3620	2.簡易点検(特性試験)						
	3-PCV-3630	3.簡易点検						
主蒸気隔離弁	3V-MS-533A	1.機能・性能試験(駆動部含む)	高	IF	○	23回	主蒸気隔離弁機能検査	
	3V-MS-533B	2.分解点検						
	3V-MS-533C	3.分解点検						
主蒸気隔離弁駆動部	3V-MS-533A	1.分解点検	高	39M	—	23回	2次系弁検査	
	3V-MS-533B	2.分解点検						
	3V-MS-533C	3.分解点検						
原子炉冷却系統施設〔主蒸気・主給水設備〕その他の弁	3V-MS-533A	1.分解点検	高	39M	—	21回	2次系弁検査	
	3V-MS-533B	2.分解点検						
	3V-MS-533C	3.分解点検						
原子炉冷却系統施設〔主蒸気・主給水設備〕その他の弁	3V-MS-533A	1.機能・性能試験	高	B	○	23回	2次系弁検査	
	3V-MS-533B	2.分解点検						
	3V-MS-533C	3.簡易点検(グラウンドハッセン代替)						
原子炉冷却系統施設〔主蒸気・主給水設備〕その他の弁駆動部	3V-MS-533A	1.機能・性能試験	高	B	○	23回	2次系弁検査	
	3V-MS-533B	2.分解点検						
	3V-MS-533C	3.簡易点検(特性試験)						
原子炉冷却系統施設〔主蒸気・主給水設備〕その他機器	3V-MS-533A	1.分解点検他	高	52M~130M	○	23回		
	3V-MS-533B	2.分解点検						
	3V-MS-533C	3.分解点検						
原子炉冷却系統施設〔主蒸気・主給水設備〕その他機器	3V-MS-533A	1.分解点検他	低	130M~195M	—	23回		一部BMあり
	3V-MS-533B	2.分解点検						
	3V-MS-533C	3.分解点検						

機器又は系統名	実施致(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は順度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回次)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術)	
原子炉冷却系統施設 [余熱除去設備]	A 余熱除去ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	B※	—	22回	1 次系ポンプ機能検査	(振動診断：1M) ※ポンプまたは電動機の分解点検に 合わせて実施 その他原子炉注水系ポンプ分解検査 は21回施設定期検査より追加	
		2. 分解点検 (ポンプ)		78M	—	22回	非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査		
		2. 分解点検 (電動機)		130M	—	21回			
		3. 簡易点検 (潤滑油入替他)		13M	○	23回			
		1. 機能・性能試験		B※	—	22回	1 次系ポンプ機能検査		(振動診断：1M) ※ポンプまたは電動機の分解点検に 合わせて実施 その他原子炉注水系ポンプ分解検査 は21回施設定期検査より追加
		2. 分解点検 (ポンプ)		78M	—	22回	非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査		
	2. 分解点検 (電動機)	130M	—	21回					
	A 余熱除去ポンプ	A 余熱除去ポンプ・電動機	3. 簡易点検 (潤滑油入替他)	13M	○	23回			
			1. 開放点検	130M	—	18回			
	B 余熱除去冷却器	B 余熱除去冷却器	2. 非破壊試験	130M	—	18回		1 次系熱交換器検査	
			1. 開放点検	130M	—	17回			
			2. 非破壊試験	130M	—	17回		1 次系熱交換器検査	
			1. 分解点検	130M	○	17回		非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査 は21回施設定期検査より追加
			1. 分解点検	130M	○	17回		非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
			1. 分解点検	130M	—	18回		非常用炉心冷却系主要弁分解検査	
			1. 分解点検	130M	—	20回		非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査 は21回施設定期検査より追加
			1. 分解点検	130M	—	22回		非常用炉心冷却系主要弁分解検査	
			1. 分解点検	130M	—	23回		非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査 は21回施設定期検査より追加
			1. 分解点検	130M	—	19回		非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
	1. 分解点検	130M	—	21回		非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査 は21回施設定期検査より追加		
	1. 分解点検	130M	—	18回		非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査			
	1. 分解点検	130M	—	19回		非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査 は21回施設定期検査より追加		
	1. 分解点検	130M	—	23回		非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査			
1. 分解点検	130M	—	20回		非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査 は21回施設定期検査より追加			
1. 分解点検	130M	—	23回		非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査				
1. 分解点検	130M	—	23回		非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査 は21回施設定期検査より追加			
1. 分解点検	130M	—	22回		非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査				

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回次)	検査名	備考 (○内は適用する設備診断技術)	
原子炉冷却系統施設 [余熱除去設備]	低圧注入系主要弁	3V-SI-209A	高	130M	—	22回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査 は21回施設定期検査より追加	
		3V-SI-209B	高	130M	—	19回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査		
	低圧注入系主要弁駆動部の他の弁	1式	1. 分解点検 1. 機能・性能試験	高	156M	—	22回		その他原子炉注水系主要弁分解検査 は21回施設定期検査より追加
		1式	1. 機能・性能試験	高	B	○	23回	1次系弁検査 1次系安全弁検査	
	原子炉冷却系統施設 [余熱除去設備] の他の弁	1式	2. 分解点検		52M~130M	○	23回		
			3. 簡易点検(グラウンドパッキン取替)		52M~130M	○	23回		
			1. 機能・性能試験	高	B	○	22回	1次系弁検査	
	原子炉冷却系統施設 [余熱除去設備] の他機器	1式	2. 分解点検		52M~156M	○	22回		
			3. 簡易点検(特牲試験)		13M~52M	○	23回		
	原子炉冷却系統施設 [余熱除去設備] の他機器	1式	1. 分解点検他	高	130M~260M	○	23回		
1. 機能・性能試験 (ポンプ、電動機、弁、弁駆動部等含む)			高	130M~156M	—	21回	1次系弁検査	12回施設定期検査時に設置	
原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備]	その他AM(代替再循環)機器 高圧及び低圧注入系 [余熱除去設備(低圧注入機能)を含む]	1. 機能・性能試験(状態監視含む)		6M	○	23回	プラント運転中 [対象設備] ・A、B、C充てん/高圧注入ポンプ ・A、B余熱除去ポンプ		
		1. 機能・性能試験 (ポンプ、電動機、弁、弁駆動部等含む)	高	1F	○	23回	非常用炉心冷却系機能検査		
その他原子炉注水系		1. 機能・性能試験 (ポンプ、電動機、弁、弁駆動部等含む)	高	1F	○	23回	その他原子炉注水系機能検査	[対象設備] ・A高圧注入系 ・B高圧注入系(自己冷却) ・C高圧注入系(海水による電動機冷却) ・A低圧注入系 ・B低圧注入系(海水による電動機冷却) 21回施設定期検査より追加	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回次)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術)
原子炉冷却系施設 [非常用炉心冷却設備]	高圧注入系主要弁	3-LCV-121D	高	130M	-	18回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査 は21回施設定期検査より追加
		3-LCV-121E	高	130M	-	23回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査 は21回施設定期検査より追加
		3V-SI-023A	高	130M	-	21回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査 は21回施設定期検査より追加
		3V-SI-023B	高	130M	-	21回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査 は21回施設定期検査より追加
		3V-SI-042A	高	130M	-	20回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査 は21回施設定期検査より追加
		3V-SI-042B	高	130M	-	21回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査 は21回施設定期検査より追加
		3V-SI-099A	高	260M	-	18回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	
		3V-SI-099B	高	260M	-	18回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	
		3V-SI-099C	高	260M	-	18回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	
		3V-SI-048A	高	260M	-	20回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査 は21回施設定期検査より追加
		3V-SI-048B	高	260M	-	20回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査 は21回施設定期検査より追加
		3V-SI-048C	高	260M	-	20回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査 は21回施設定期検査より追加
		3V-SI-106A	高	260M	-	-	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	19回施設定期検査時に設置
		3V-SI-106B	高	260M	-	-	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	19回施設定期検査時に設置
		3V-SI-106C	高	260M	-	-	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	19回施設定期検査時に設置
		3V-SI-087A	高	260M	-	20回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	
		3V-SI-087B	高	260M	-	20回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	
		3V-SI-087C	高	260M	-	20回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	
		3V-SI-088	高	130M	-	23回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	
			1式		高	156M	-	21回
	高圧注入系主要弁駆動部							

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回次)	検査名	備考 ( )内は適用する設備(診断技術)	
原子炉冷却系施設 〔非常用炉心冷却設備〕	蓄圧注入系 蓄圧注入系主要弁	1.機能・性能試験(弁、弁駆動部含む) 1.分解点検	高	IF	○	23回	非常用炉心冷却系機能検査 その他原子炉注水系統機能検査	その他原子炉注水系統機能検査は21回 施設定期検査より追加	
		3V-SI-132A	高	130M	—	22回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系統主要弁分解検査	その他原子炉注水系統主要弁分解検査 は21回施設定期検査より追加	
		3V-SI-132B	高	130M	—	23回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系統主要弁分解検査	その他原子炉注水系統主要弁分解検査 は21回施設定期検査より追加	
		3V-SI-132C	高	130M	—	22回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系統主要弁分解検査	その他原子炉注水系統主要弁分解検査 は21回施設定期検査より追加	
		3V-SI-134A	高	130M	—	19回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系統主要弁分解検査	その他原子炉注水系統主要弁分解検査 は21回施設定期検査より追加	
		3V-SI-134B	高	130M	—	22回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系統主要弁分解検査	その他原子炉注水系統主要弁分解検査 は21回施設定期検査より追加	
		3V-SI-134C	高	130M	—	19回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系統主要弁分解検査	その他原子炉注水系統主要弁分解検査 は21回施設定期検査より追加	
		3V-SI-136A	高	130M	○	23回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系統主要弁分解検査	その他原子炉注水系統主要弁分解検査 は21回施設定期検査より追加	
		3V-SI-136B	高	130M	○	21回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系統主要弁分解検査	その他原子炉注水系統主要弁分解検査 は21回施設定期検査より追加	
		3V-SI-136C	高	130M	○	23回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系統主要弁分解検査	その他原子炉注水系統主要弁分解検査 は21回施設定期検査より追加	
		1式	高	156M	—	23回			
		A蓄圧タンク	高	130M	—	21回			
		B蓄圧タンク	高	130M	—	21回			
		C蓄圧タンク	高	130M	—	21回			
ほう酸注入タンク	高	130M	—	21回					
燃料取替用水タンク	高	130M	—	17回					
格納容器再循環ポンプ	高	IF	○	23回					
格納容器再循環ポンプスクリーン	高	10Y	—	23回			原子炉格納容器再循環ポンプスクリーン検査 20回施設定期検査時に設置		
燃料取替用水タンク補給用移送ポンプ・電動機	高	1.機能・性能試験 2.分解点検(ポンプ) 2.分解点検(電動機) 3.簡易点検(潤滑油入管 他)	高	IF 130M 78M 13M	○ — — ○	23回 — — 23回	その他原子炉注水系統機能検査 その他原子炉注水系統ポンプ分解検査 その他原子炉注水系統ポンプ分解検査 その他原子炉注水系統ポンプ分解検査	21回施設定期検査時に設置 21回施設定期検査より追加	

機器又は系統名	実施致(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回次)	検査名	備考 ( )内は適用する 設備診断技術)	
原子炉冷却系統施設 〔非常用炉心冷却設備〕	恒設代替低圧注水系	1.機能・性能試験(ポンプ、電動機、弁、弁駆動部等含む)	高	1F	○	23回	原子炉格納容器安全系機能検査 その他原子炉注水系機能検査	21回施設定期検査 その他原子炉注水系機能検査は21回施設定期検査より追加	
		1.機能・性能試験	高	B	—	—		21回施設定期検査より追加	
		2.分解点検(ポンプ)		130M	—	—		21回施設定期検査より追加	
	恒設代替低圧注水ポンプ・電動機	2.分解点検(電動機)		78M	—	—			
		3.簡易点検(潤滑油入替他)		13M	○	○	23回	原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	21回施設定期検査より追加
		1.機能・性能試験	高・低	B	○	○	23回	1次系弁検査 1次系安全弁検査	21回施設定期検査時に設置
	原子炉冷却系統施設〔非常用炉心冷却設備〕その他の弁	2.分解点検		52M~260M	○	○	23回	1次系逆止弁検査	21回施設定期検査時に設置
		1.機能・性能試験	高	B	○	○	22回	1次系弁検査	
		2.分解点検		52M~156M	○	○	22回		
	原子炉冷却系統施設〔非常用炉心冷却設備〕その他の弁駆動部	3.簡易点検(特牲試験他)		13M~104M	○	○	23回		
		1.分解点検他	高	13M~260M	○	○	23回		
		1.分解点検他	低	26M~260M	○	○	23回		一部BMあり 一部先行実施
原子炉冷却系統施設 〔化学体積制御系設備〕	化学体積制御系 A 充てん/高圧注水ポンプ・電動機	1.機能・性能試験	高	1F	○	23回	化学体積制御系機能検査	定期事業業者検査起動後	
		1.分解点検(ポンプ)	高	117M	—	—	非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	(振動診断: 3M) その他原子炉注水系ポンプ分解検査は21回施設定期検査より追加	
		1.分解点検(電動機)		104M	—	—			
	B 充てん/高圧注水ポンプ・電動機	2.簡易点検(潤滑油入替他)		26M	○	○	23回		
		1.分解点検(ポンプ)	高	117M	—	—	22回	非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	(振動診断: 3M) その他原子炉注水系ポンプ分解検査は21回施設定期検査より追加
		1.分解点検(電動機)		104M	—	—	20回		
	C 充てん/高圧注水ポンプ・電動機	2.簡易点検(潤滑油入替他)		26M	○	○	23回		
		1.分解点検(ポンプ)	高	117M	—	—	21回	非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	(振動診断: 3M) その他原子炉注水系ポンプ分解検査は21回施設定期検査より追加
		1.分解点検(電動機)		104M	—	—	23回		
	体積制御タンク 冷却材フィルタ A 冷却材脱塩塔入口フィルタ B 冷却材脱塩塔入口フィルタ	1.開放点検	高	130M	—	—	20回		
		1.開放点検	高	130M	—	—	21回		
		1.開放点検	高	130M	—	—	21回		先行実施
1.開放点検		高	130M	—	—	20回		先行実施	

機器又は系統名	実施致(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回次)	検査名	備考 ( )内は適用する設備(診断技術)	
原子炉冷却系統施設 〔化学体積制御設備〕	非再生冷却器	1. 開放点検(管側)	高	130M	—	19回			
		1. 開放点検(胴側)		195M	—	19回			
		2. 非破壊試験		130M	—	19回			
	その他原子炉注水系主要弁	3V-CS-218	1. 分解点検	高	130M	○	17回	21回施設定期検査より追加	
			1. 分解点検		130M	—	18回	21回施設定期検査より追加	
		3V-CS-219	1. 分解点検	高	130M	—	18回	21回施設定期検査より追加	
			1. 分解点検		130M	—	18回	21回施設定期検査より追加	
	原子炉冷却系統施設〔化学体積制御設備〕その他の弁	1式	1. 機能・性能試験	高・低	B	○	23回	1次系弁検査	一部先行実施
			2. 分解点検		13M~260M	○	23回	1次系安全弁検査	
		1式	1. 機能・性能試験	高	B	○	23回	1次系弁検査	
			2. 分解点検		13M~156M	○	23回	1次系逆止弁検査	
			3. 簡易点検(特性試験他)		13M~65M	○	23回	1次系弁検査	
原子炉冷却系統施設〔化学体積制御設備〕その他機器	1式	1. 分解点検他	高	13M~260M	○	23回		一部先行実施	
		1. 分解点検他		13M~208M	○	23回			一部BMあり 一部先行実施
原子炉冷却系統施設 〔蒸気タービンの附属設備〕	補助給水系	1. 機能・性能試験(ポンプ、電動機、弁、弁駆動部等含む)	高	1F	○	23回	補助給水系機能検査		
		1. 分解点検(ポンプ)		130M	—	15回	補助給水系ポンプ分解検査 (振動診断: 1M)		
	A 電動補助給水ポンプ・電動機		1. 分解点検(電動機)	高	104M	—	21回		
			2. 簡易点検(潤滑油入替他)		13M	○	23回		
			1. 分解点検(ポンプ)		130M	—	16回		
	B 電動補助給水ポンプ・電動機		1. 分解点検(電動機)	高	104M	—	22回		
			2. 簡易点検(潤滑油入替他)		13M	○	23回		
			1. 機能・性能試験		B	—	21回		
	タービン動補助給水ポンプ		2. 分解点検	高	52M	—	21回	補助給水系ポンプ分解検査	駆動部のタービン含む
			3. 簡易点検(潤滑油入替他)		13M	○	23回		
			1. 機能・性能試験		B	—	23回	2次系弁検査	
	原子炉冷却系統施設〔蒸気タービンの附属設備〕その他の弁	1式	2. 分解点検	高	52M~130M	○	23回	2次系弁検査	
3. 簡易点検(グラインド入替)			52M		—	23回	2次系弁検査		
1. 機能・性能試験			B		—	23回	2次系弁検査		
原子炉冷却系統施設〔蒸気タービンの附属設備〕その他の弁駆動部	1式	2. 分解点検	高	52M~156M	—	23回	2次系弁検査		
		3. 簡易点検(特性試験)		13M~52M	○	23回	2次系弁検査		
		1. 機能・性能試験		B	—	23回	2次系弁検査		

機器又は系統名	実施致(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回次)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術	
原子炉冷却系統施設 [蒸気タービンの附属設備]	原子炉冷却系統施設[蒸気タービンの附属設備]その他機器	1式	高	26M~260M	○	23回		一部21回施設定検時に設置	
	原子炉補機冷却系	1. 分解点検他 1. 分解点検他 1. 機能・性能試験(弁、弁駆動部含む) 1. 機能・性能試験 2. 分解点検(ポンプ) 2. 分解点検(電動機) 3. 簡易点検(潤滑油入替他)	低 高	65M~130M 1F	— ○	22回 23回	原子炉補機冷却系機能検査		
原子炉補機冷却水設備 [原子炉補機冷却水設備]	A 原子炉補機冷却水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	B※	—	21回	1次系ポンプ機能検査	(振動診断: 3M) ※ポンプまたは電動機の分解点検に 合わせて実施	
		2. 分解点検(ポンプ)		130M	—	21回			
		3. 簡易点検(潤滑油入替他)		104M	—	20回			
	B 原子炉補機冷却水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	B※	—	○	23回		(振動診断: 3M) ※ポンプまたは電動機の分解点検に 合わせて実施
		2. 分解点検(ポンプ)		130M	—	○	21回		
		3. 簡易点検(潤滑油入替他)		104M	—	○	23回		
	C 原子炉補機冷却水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	B※	—	—	22回	1次系ポンプ機能検査	(振動診断: 1.2M) ※ポンプまたは電動機の分解点検に 合わせて実施
		2. 分解点検(ポンプ)		130M	—	—	19回		
		3. 簡易点検(潤滑油入替他)		104M	—	—	22回		
	D 原子炉補機冷却水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	B※	—	○	22回		(振動診断: 3M) ※ポンプまたは電動機の分解点検に 合わせて実施
		2. 分解点検(ポンプ)		130M	—	—	21回		
		3. 簡易点検(潤滑油入替他)		104M	—	—	21回		
E 原子炉補機冷却水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	B※	—	○	23回	1次系ポンプ機能検査	(振動診断: 3M) ※ポンプまたは電動機の分解点検に 合わせて実施	
	2. 分解点検(ポンプ)		130M	—	—	21回			
	3. 簡易点検(潤滑油入替他)		104M	—	—	23回			
大容量ポンプ	3台	1. 機能・性能試験	高	IV	○	23回	可搬型重大事故等対処設備機能検査	プラント運転中又は定期事業者検査 停止中 21回施設定検時に設置 21回施設定期検査より追加	
		2. 分解点検		10Y	—	—			
A 原子炉補機冷却水冷却器		1. 開放点検	高	13M	○	23回			
		2. 非破壊試験		13M	○	23回	1次系熱交換器検査		
		3. 漏えい試験		13M	○	23回			
		4. 機能・性能試験		X※	○	23回		原子炉補機冷却水冷却器伝熱管補修工事機 能・性能事業者検査	※: 1次系熱交換器検査結果にて有 意な信号指示が認められた場合に実 施
		5. 開放点検		X※	○	23回		原子炉補機冷却水冷却器伝熱管補修工事機 造・強度事業者検査	



機器又は系統名	実施致(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回次)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術)	
原子炉冷却系統施設 〔原子炉補機冷却水設備〕	B 原子炉補機冷却水冷却器	1. 開放点検	高	13M	○	23回	1次系熱交換器検査		
		2. 非破壊試験		13M	○	23回			
		3. 漏えい試験		13M	○	23回			
		4. 機能・性能試験		X※	○	23回			原子炉補機冷却水冷却器伝熱管補修工事 能・性能事業者検査
		5. 開放点検		X※	○	23回			原子炉補機冷却水冷却器伝熱管補修工事 造・強度事業者検査
	C 原子炉補機冷却水冷却器	1. 開放点検	高	13M	○	23回	1次系熱交換器検査		
		2. 非破壊試験		13M	○	23回			
		3. 漏えい試験		13M	○	23回			
		4. 機能・性能試験		X※	○	23回			原子炉補機冷却水冷却器伝熱管補修工事 能・性能事業者検査
		5. 開放点検		X※	○	23回			原子炉補機冷却水冷却器伝熱管補修工事 造・強度事業者検査
	D 原子炉補機冷却水冷却器	1. 開放点検	高	13M	○	23回	1次系熱交換器検査		
		2. 非破壊試験		13M	○	23回			
		3. 漏えい試験		13M	○	23回			
		4. 機能・性能試験		X※	○	23回			原子炉補機冷却水冷却器伝熱管補修工事 能・性能事業者検査
		5. 開放点検		X※	○	23回			原子炉補機冷却水冷却器伝熱管補修工事 造・強度事業者検査
	原子炉補機冷却水サージタンク 原子炉補機冷却水サージタンクバキュームリリーフ弁 可搬型原子炉補機冷却水循環ポンプ	2台	1. 開放点検	高	130M	—	21回		
			1. 分解点検		130M	—	17回		
	原子炉冷却系統施設〔原子炉補機冷却水設備〕その他の弁	1式	1. 機能・性能試験	高・低	1F	○	23回	可搬型重大事故等対処設備機能検査	21回施設点検時に設置 22回施設定期検査より追加
			2. 分解点検		B	○	23回		
	原子炉冷却系統施設〔原子炉補機冷却水設備〕その他の弁駆動部	1式	1. 機能・性能試験	高	130M	○	23回	1次系逆止弁検査 1次系弁検査	一部先行実施
2. 分解点検			B		—	22回	1次系弁検査		
原子炉冷却系統施設〔原子炉補機冷却水設備〕その他機器	1式	1. 機能・性能試験	高	65M～156M	○	23回			
		2. 分解点検		65M	○	23回			
原子炉冷却系統施設〔原子炉補機冷却水設備〕その他機器	1式	1. 機能・性能試験	高	13M～260M	○	23回		一部先行実施	
		2. 分解点検		65M～130M	○	23回			一部BMあり

機器又は系統名	実施致(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回次)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術)	
原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却海水設備]	原子炉補機冷却海水系	1.機能・性能試験(弁、弁駆動部含む) 1.機能・性能試験 2.分解点検(ポンプ) 3.簡易点検(電動機) 3.簡易点検(潤滑油入替)	高	IF	○	23回	原子炉補機冷却系機能検査		
	A 海水ポンプ・電動機		高	B※ 52M 104M 26M	— — — —	21回 21回 20回 23回	2次系ポンプ機能検査 2次系ポンプ分解検査	先行実施 (振動診断: 3M(対象: 電動機)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施	
	B 海水ポンプ・電動機		高	B※ 52M 104M 26M	— — — —	23回 23回 23回 23回	2次系ポンプ機能検査 2次系ポンプ分解検査	先行実施 (振動診断: 3M(対象: 電動機)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施	
	C 海水ポンプ・電動機		高	B※ 52M 104M 26M	○ ○ — ○	22回 21回 22回 22回	2次系ポンプ機能検査 2次系ポンプ分解検査	(振動診断: 3M(対象: 電動機)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施	
	原子炉冷却系統施設[原子炉補機冷却海水設備]その他の弁	1式	1.分解点検 2.簡易点検(弁棒グリスアップ)	高	117M 13M	— ○	21回 23回	2次系弁検査	
	原子炉冷却系統施設[原子炉補機冷却海水設備]その他の弁駆動部	1式	1.機能・性能試験 2.分解点検	高	B 117M	○ ○	21回 21回		
	原子炉冷却系統施設[原子炉補機冷却海水設備]その他機器	1式	1.分解点検他 1.分解点検他	高 低	13M~195M 13M~195M	○ ○	23回 23回		
	格納容器サンプ・格納容器内凝縮液量測定装置に係る設備	1式	1.機能・性能試験 2.特性試験	高	13M 13M	○ ○	23回 23回	格納容器サンプ水位上昇率測定装置及び格納容器内凝縮液量測定装置漏えい検出器機能検査 格納容器サンプ水位上昇率測定装置及び格納容器内凝縮液量測定装置漏えい検出器機能検査	一部BMあり
	計測制御系統施設 [制御材]	照射済制御棒クラスタ 照射済バーナールボイズン 照射済プレンジングデバイス 照射済2次中性子源	※ 1式 ※ 1式 ※ 1式 ※ 1式	高 高 高 高	IF IF IF IF	○ ○ ○ ○	23回 23回 23回 23回	制御棒クラスタ検査 制御棒クラスタ検査 制御棒クラスタ検査 制御棒クラスタ検査	※: 炉心設計による ※: 炉心設計による ※: 炉心設計による ※: 炉心設計による

機器又は系統名	実施致(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回次)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術)	
計測制御系統施設 [制御棒駆動装置]	制御棒クラスタ	1.機能・性能試験	高	1F	○	23回	制御棒駆動系機能検査 制御棒クラスタ動作検査		
		A 制御棒駆動装置MGセット(発電機・電動機)	1.機能・性能試験	高	B※	○	21回		(振動診断: 3M) ※発電機または電動機の分解点検に 合わせて実施
			2.分解点検(発電機)		78M	○	21回		
	2.分解点検(電動機)			CBM	-	13回			
	B 制御棒駆動装置MGセット(発電機・電動機)	3.簡易点検(潤滑油入替 他)	高	13M	○	23回			
		1.機能・性能試験	高	B※	○	21回		(振動診断: 3M) ※発電機または電動機の分解点検に 合わせて実施	
		2.分解点検(発電機)	高	78M	-	21回			
	A TWS緩和設備	2.分解点検(電動機)		CBM	○	14回			
		3.簡易点検(潤滑油入替 他)		13M	○	23回			
		1.機能・性能試験	高	13M	○	23回		重大事故時安全停止回路機能検査 21回施設定期検査より追加	
	計測制御系統施設 [ほう酸注入機能を有する設備]	A ほう酸ポンプ・電動機	1.機能・性能試験	高	B※	-	22回	ほう酸ポンプ機能検査	(振動診断: 1M) ※ポンプまたは電動機の分解点検に 合わせて実施
			2.分解点検(ポンプ)		78M	-	22回	ほう酸ポンプ分解検査	
3.簡易点検(潤滑油入替 他)				13M	○	23回			
B ほう酸ポンプ・電動機		1.機能・性能試験	高	B※	-	23回	ほう酸ポンプ機能検査	(振動診断: 1M) ※ポンプまたは電動機の分解点検に 合わせて実施	
		2.分解点検(ポンプ)		78M	-	23回	ほう酸ポンプ分解検査		
		3.簡易点検(潤滑油入替 他)		13M	○	23回			
C ほう酸ポンプ・電動機		1.機能・性能試験	高	B※	-	21回	ほう酸ポンプ機能検査	(振動診断: 1M) ※ポンプまたは電動機の分解点検に 合わせて実施	
		2.分解点検(ポンプ)		78M	-	21回	ほう酸ポンプ分解検査		
		3.簡易点検(潤滑油入替 他)		13M	○	23回			
A 1次系補給水ポンプ・電動機		1.機能・性能試験	低	B※	○	21回	1次系ポンプ機能検査	(振動診断: 6M (対象: ポン プ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に 合わせて実施	
		2.分解点検(ポンプ)		CBM	-	7回			
		2.分解点検(電動機)		78M	○	21回			
B 1次系補給水ポンプ・電動機	3.簡易点検(潤滑油入 替)		26M	○	22回				
	1.機能・性能試験	低	B※	-	23回	1次系ポンプ機能検査	(振動診断: 6M (対象: ポン プ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に 合わせて実施		
	2.分解点検(ポンプ)		CBM	-	8回				
A ほう酸タンク	2.分解点検(電動機)		78M	-	23回				
	3.簡易点検(潤滑油入 替)		26M	-	23回				
	1.開放点検	高	195M	-	23回				
B ほう酸タンク	1.開放点検	高	195M	○	14回				

機器又は系統名	実施装置(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回次)	検査名	備考 (○内は適用する設備診断技術)
計測制御系統施設 [ほう酸注入機能を有する設備]	Aほう酸タンクアトモス弁	1. 分解点検	高	130M	-	21回	1 次系真空破壊弁検査	
	Aほう酸タンクバキュームリリース弁	1. 分解点検	高	130M	-	21回	1 次系真空破壊弁検査	
	Bほう酸タンクアトモス弁	1. 分解点検	高	130M	-	19回	1 次系真空破壊弁検査	
	Bほう酸タンクバキュームリリース弁	1. 分解点検	高	130M	-	19回	1 次系真空破壊弁検査	
	1次系純水タンク	1. 開放点検	低	195M	-	14回	1 次系真空破壊弁検査	
	1次系純水タンクアトモス弁	1. 分解点検	低	130M	-	21回	1 次系真空破壊弁検査	
	1次系純水タンクバキュームリリース弁	1. 分解点検	低	130M	-	21回	1 次系真空破壊弁検査	
	ほう酸フィルタ	1. 開放点検	高	130M	-	20回		
	計測制御系統施設 [ほう酸注入機能を有する設備] その他の弁	1. 機能・性能試験	高・低	B	-	23回	1 次系弁検査 1 次系安全弁検査	
	計測制御系統施設 [ほう酸注入機能を有する設備] その他の弁駆動部	2. 分解点検		130M	○	23回	1 次系弁検査 1 次系逆止弁検査 1 次系弁検査	
	計測制御系統施設 [ほう酸注入機能を有する設備] その他の機器	1. 機能・性能試験	高	B	-	19回	1 次系弁検査	
	計測制御系統施設 [ほう酸注入機能を有する設備] その他の機器	2. 分解点検		156M	-	19回		
	ほう素熱再生抽出水冷却器	1. 分解点検他	高	91M~221M	○	23回		
	ほう素熱再生抽出水冷却器	1. 分解点検他	低	104M~234M	○	23回		一部BMあり 一部先行実施
計測制御系統施設 [ほう素再生設備]	ほう素熱再生抽出水冷却器	1. 開放点検(管側)	高	130M	-	18回		先行実施
	ほう素熱再生抽出水冷却器	1. 開放点検(胴側)		195M	-	22回		
	ほう素熱再生抽出水冷却器	2. 非破壊試験		130M	-	18回	1 次系熱交換器検査	
	ほう素熱再生抽出水冷却器	1. 開放点検(管側)	高	130M	-	18回		先行実施
	ほう素熱再生抽出水冷却器	1. 開放点検(胴側)		195M	-	22回		
	ほう素熱再生抽出水冷却器	2. 非破壊試験		130M	-	18回	1 次系熱交換器検査	
	ほう素熱再生抽出水冷却器	1. 開放点検(管側)	高	130M	-	18回		先行実施
	ほう素熱再生抽出水冷却器	1. 開放点検(胴側)		195M	-	22回		
	ほう素熱再生抽出水冷却器	2. 非破壊試験		130M	-	18回	1 次系熱交換器検査	
	ほう素熱再生抽出水冷却器	1. 機能・性能試験	高・低	B	-	21回	1 次系熱交換器検査 1 次系安全弁検査	一部先行実施
	ほう素熱再生抽出水冷却器	2. 分解点検		130M	○	23回	1 次系弁検査 1 次系逆止弁検査	
	ほう素熱再生抽出水冷却器	1. 分解点検他	高	104M~130M	○	23回		一部先行実施
	ほう素熱再生抽出水冷却器	1. 分解点検他	低	104M~156M	-	23回		一部BMあり 一部先行実施

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回次)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術)	
計測制御系統施設 [制御用空気設備]	格納容器外制御用空気圧縮機	2台	高	1F	○	23回	制御用空気圧縮系機能検査		
	A 格納容器外制御用空気圧縮機・電動機		1.機能・性能試験(圧縮機、電動機含む)	高	26M	○	23回		(振動診断:3M(対象:電動機))
			1.分解点検(電動機)		CBM	-	13回		
			2.簡易点検(Vベルト調整)		26M	○	22回		
			2.簡易点検(潤滑油入替)		13M	○	23回		
	B 格納容器外制御用空気圧縮機・電動機		1.機能・性能試験(圧縮機)	高	26M	○	22回		(振動診断:3M(対象:電動機))
			1.分解点検(電動機)		CBM	-	14回		
			2.簡易点検(Vベルト調整)		26M	-	23回		
			2.簡易点検(潤滑油入替)		13M	○	23回		
	格納容器内制御用空気圧縮機	2台	高	1F	○	23回	制御用空気圧縮系機能検査		
	A 格納容器内制御用空気圧縮機・電動機		1.機能・性能試験(圧縮機、電動機含む)	高	26M	○	23回		(振動診断:3M(対象:電動機))
			1.分解点検(電動機)		78M	○	21回		
			2.簡易点検(Vベルト調整)		26M	○	22回		
			2.簡易点検(潤滑油入替)		13M	○	23回		
	B 格納容器内制御用空気圧縮機・電動機		1.機能・性能試験(圧縮機)	高	26M	○	22回		(振動診断:3M(対象:電動機))
1.分解点検(電動機)				78M	-	21回			
2.簡易点検(Vベルト調整)				26M	-	23回			
2.簡易点検(潤滑油入替)				13M	○	23回			
計測制御系統施設 [制御用空気設備] の他の弁	1式	高	B	-	23回	1次系安全弁検査			
計測制御系統施設 [制御用空気設備] の他の弁駆動部	1式	高	130M~260M	-	23回	1次系逆止弁検査			
計測制御系統施設 [制御用空気設備] の他機器	1式	高	156M	○	21回				
計測制御系統施設 [その他設備]	1.原子炉保護系ロジック回路	34回路	高	1F	○	23回	安全保護系機能検査		
	2.安全防護系ロジック回路	26回路	高・低	13M	○	23回	安全保護系設定値確認検査	保全の有効性評価結果No.3、4の反映 一部BMあり	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回次)	検査名	備考 ( )内は適用する 設備(診断技術)	
計測制御系統施設 [その他設備]	事故時監視計器 圧力監視計器 水位監視計器 流量監視計器 温度監視計器	4個 20個 13個 8個	高	13M	○	23回	プラント状態監視設備機能検査	一部21回施設定検時に設置 保全の有効性評価結果No.5,6の反映	
		1台	高	1F	○	23回	プラント状態監視設備機能検査		
	事故時試験採取設備 格納容器ガス試験採取系統設備	7台	高	130M	—	21回	1次系破壊板検査		
		1式	高	13M	○	23回	計測制御系機能検査	一部定期事業者検査起動後	
	計測制御系統施設 破壊板	1. 制御棒制御系 2. 加圧器水位制御系 3. 加圧器圧力制御系 4. 蒸気発生器水位制御系	1. 特性試験	高・低	13M	○	23回	計測制御系監視設備機能検査	一部定期事業者検査起動後 保全の有効性評価結果No.7,8の反映
			1. 特性試験	高	13M	○	23回	核計装設備検査	一部定期事業者検査起動後
	炉外核計装装置 中性子源領域計装装置 中間領域計装装置 出力領域計装装置	2台 2台 8台	1. 機能・性能試験	高・低	1F	○	23回	核計装設備検査	
			2. 分解点検	高・低	13M	○	23回		
			3. 簡易点検(特性試験)		13M	○	23回		
	炉内核計装装置	1式	1. 非破壊試験	高	52M	○	20回	炉内計装用シンプルチューブ体積検査	
	制御棒位置指示装置	1式	1. 特性試験	高	13M	○	23回	制御棒位置指示装置設定値検査	
	1. パーミッツシプロジック回路 原子炉保護系 2. パーミッツシプロジック回路 安全防護系	5回路 3回路	1. 機能・性能試験	高	1F	○	23回	安全保護系機能検査	
			1. 機能・性能試験	高	1F	○	23回	総合インターロック検査	
	総合インターロック 1. タービントリップによる原子炉、発電機トリップ回路 2. 発電機トリップによる原子炉、タービントリップ回路 3. 原子炉トリップによるタービン、発電機トリップ回路	1式	1. 機能・性能試験	高	1F	○	23回	原子炉の停止制御回路健全性確認検査	
	原子炉の停止制御回路	1式	1. 機能・性能試験	高	1F	○	23回	可搬型重大事故等対処設備機能検査	21回施設定検時に設置 21回施設定期検査より追加
	可搬型格納容器ガス試験圧縮装置	2台	1. 機能・性能試験	高	1F	○	23回		
	計測制御系統施設[その他設備]その他の 弁	1式	1. 機能・性能試験	高・低	B	○	23回	1次系弁検査 1次系安全弁検査	
			2. 分解点検	高・低	78M~260M	○	23回	1次系弁検査 1次系逆止弁検査	
	計測制御系統施設[その他設備]その他の 弁駆動部	1式	1. 機能・性能試験	高・低	B	○	23回	1次系弁検査	
			2. 分解点検	高・低	65M~156M	○	23回		
		3. 簡易点検(特性試験)		65M	○	23回			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回次)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術)
計測制御系統施設 [その他設備]	計測制御系統施設[その他設備]その他機	1. 分解点検他	高	13M~208M	○	23回		保全の有効性評価結果No.9,10,11の反映
		1. 分解点検他	低	12M~260M	○	23回		保全の有効性評価結果No.12,13,14,15,16,17,18,19,20,21,22の反映
放射線廃棄物の廃棄施設 [気体、液体又は固体廃棄物処理設備]	ガス圧縮機	1.機能・性能試験(圧縮機、電動機含む)	低	1F	○	23回	気体廃棄物処理系機能検査	
	Aガス圧縮機・電動機	1.分解点検	低	52M	○	21回	(振動診断:4M)	
	Bガス圧縮機・電動機	1.機能・性能試験(圧縮機、電動機含む)	低	52M	—	21回	(振動診断:4M)	
	水素再結合装置	1.分解点検	低	1F	○	23回	気体廃棄物処理系機能検査	
	A水素再結合装置	1.分解点検他	低	130M	○	22回		
	B水素再結合装置	1.分解点検他	低	130M	○	23回		
	1次系破膜板	1.分解点検	高	130M	○	22回	1次系破膜板検査	先行実施
	ほう酸回収装置	1.機能・性能試験	低	1F	○	23回	液体廃棄物処理系機能検査	先行実施
	ほう酸回収装置(弁、機器)	1.分解点検他	低	65M~130M	○	23回		先行実施
	廃液蒸発装置	2.簡易点検(ガスケットパッキン取替)		130M	○	23回		
	廃液蒸発装置	1.機能・性能試験	低	1F	○	23回	液体廃棄物処理系機能検査	先行実施
	廃液蒸発装置(弁、機器)	1.分解点検他	低	65M~156M	○	23回		先行実施
	A補助建屋冷却材ドレンポンプ・電動機	1.機能・性能試験	低	B※	—	21回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (振動診断:4M(対象:ポンプ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
		2.分解点検(ポンプ)		CBM	—	7回		
		2.分解点検(電動機)		91M	—	21回		
		3.簡易点検(潤滑油入替)		39M	—	22回		
	B補助建屋冷却材ドレンポンプ・電動機	1.機能・性能試験	低	B※	—	21回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (振動診断:4M(対象:ポンプ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
		2.分解点検(ポンプ)		CBM	—	8回		
		2.分解点検(電動機)		78M	—	21回		
		3.簡易点検(潤滑油入替)		39M	—	23回		
	Aほう酸回収装置給水ポンプ・電動機	1.機能・性能試験	低	B※	—	21回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (振動診断:4M(対象:ポンプ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
		2.分解点検(ポンプ)		CBM	—	6回		
		2.分解点検(電動機)		78M	—	21回		
		3.簡易点検(潤滑油入替)		39M	—	23回		
	Bほう酸回収装置給水ポンプ・電動機	1.機能・性能試験	低	B※	—	23回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (振動診断:4M(対象:ポンプ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
		2.分解点検(ポンプ)		CBM	—	7回		
		2.分解点検(電動機)		78M	—	23回		
		3.簡易点検(潤滑油入替)		39M	○	21回		

機器又は系統名	実施致(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回次)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術)			
放射性廃棄物の廃棄施設 〔気体、液体又は固体廃棄物処理設備〕	A 補助建屋サンプポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B※	—	23回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施			
		2. 分解点検(ポンプ)		260M	—	23回					
		2. 分解点検(電動機)		169M	—	16回					
		1. 機能・性能試験		B※	○	21回			液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施	
		2. 分解点検(ポンプ)		260M	—	21回					
		2. 分解点検(電動機)		169M	○	14回					
	1. 機能・性能試験	B※	—	21回							
	A 補助建屋機器ドレンタンクポンプ・電動機	B 補助建屋機器ドレンタンクポンプ・電動機	2. 分解点検(ポンプ)	低	260M	—	21回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施		
			2. 分解点検(電動機)		143M	—	17回				
			1. 機能・性能試験		B※	○	21回			液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
			2. 分解点検(ポンプ)		260M	—	21回				
			2. 分解点検(電動機)		156M	○	15回				
			1. 機能・性能試験		B※	—	23回				
	A 格納容器冷却材ドレンポンプ・電動機	B 格納容器冷却材ドレンポンプ・電動機	2. 分解点検(ポンプ)	低	26M	—	23回	液体廃棄物処理系設備検査	※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施		
			2. 分解点検(電動機)		78M	—	21回				
			3. 簡易点検(潤滑油入替)		13M	○	23回				
			1. 機能・性能試験		B※	○	22回			液体廃棄物処理系設備検査	※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
			2. 分解点検(ポンプ)		26M	○	22回				
			2. 分解点検(電動機)		78M	—	21回				
	3. 簡易点検(潤滑油入替)	13M	○	23回							
A 格納容器サンプポンプ・電動機	B 格納容器サンプポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B※	—	22回	液体廃棄物処理系設備検査	※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施			
		2. 分解点検(ポンプ)		52M	—	22回					
		2. 分解点検(電動機)		52M	—	22回					
		1. 機能・性能試験		B※	—	23回			液体廃棄物処理系設備検査	※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施	
		2. 分解点検(ポンプ)		52M	—	23回					
		2. 分解点検(電動機)		52M	—	23回					
1. 機能・性能試験	B※	—	23回								



機器又は系統名	実施致(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回次)	検査名	備考 (○内は適用する設備診断技術)				
放射性廃棄物の廃棄施設 〔気体、液体又は固体廃棄物処理設備〕	A 廃液給水ポンプ・電動機	1.機能・性能試験	低	B※	—	21回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (振動診断：4M(対象：ポンプ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施				
		2.分解点検(ポンプ)		CBM	—	8回						
		2.分解点検(電動機)		78M	—	21回						
		3.簡易点検(潤滑油入替)		26M	○	22回						
		B 廃液給水ポンプ・電動機		1.機能・性能試験	低	B※			—	23回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (振動診断：4M(対象：ポンプ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
				2.分解点検(ポンプ)		CBM			—	5回		
				2.分解点検(電動機)		78M			—	23回		
		3.簡易点検(潤滑油入替)		低	26M	—			—	23回		
						C 廃液給水ポンプ・電動機			1.機能・性能試験	低	B※	○
	2.分解点検(ポンプ)		CBM				—	6回				
	2.分解点検(電動機)	78M	○	21回								
	3.簡易点検(潤滑油入替)	低	26M	—	—	23回						
				34A 洗浄排水ポンプ・電動機	1.機能・性能試験	低	B※	—	16回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (振動診断：4M(対象：ポンプ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施	
					2.分解点検(ポンプ)		CBM	—	6回			
	2.分解点検(電動機)	156M	—		16回							
	3.簡易点検(潤滑油入替)	39M	—		22回							
	34B 洗浄排水ポンプ・電動機	1.機能・性能試験	低		B※		—	23回	液体廃棄物処理系設備検査			先行実施 (振動診断：4M(対象：ポンプ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
		2.分解点検(ポンプ)			CBM		—	7回				
		2.分解点検(電動機)			156M		—	23回				
	3.簡易点検(潤滑油入替)	低	39M		○		—	21回				
					34A 洗浄排水モニタポンプ・電動機		1.機能・性能試験	低	B※			—
2.分解点検(ポンプ)				CBM		—	8回					
2.分解点検(電動機)	156M	—	23回									
3.簡易点検(潤滑油入替)	39M	—	22回									
34B 洗浄排水モニタポンプ・電動機	1.機能・性能試験	低	B※	—		15回	液体廃棄物処理系設備検査		先行実施 (振動診断：4M(対象：ポンプ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施			
	2.分解点検(ポンプ)		CBM	—		4回						
	2.分解点検(電動機)		182M	—		15回						
3.簡易点検(潤滑油入替)	低	39M	○	—		21回						

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回次)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術)
放射性廃棄物の廃棄施設 〔気体、液体又は固体廃棄物処理設備〕	34A 廃液蒸留水モニタタンクポンプ・電動機	1.機能・性能試験	低	B※	—	15回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (振動診断：4M(対象：ポンプ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
		2.分解点検(ポンプ)		CBM	—	7回		
		3.簡易点検(潤滑油入替)		208M 39M	—	15回 23回		
	34B 廃液蒸留水モニタタンクポンプ・電動機	1.機能・性能試験	低	B※	—	16回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (振動診断：4M(対象：ポンプ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
		2.分解点検(ポンプ)		CBM	—	8回		
		3.簡易点検(潤滑油入替)		182M 39M	○	16回 21回		
	34A 廃液蒸留水ポンプ・電動機	1.機能・性能試験	低	B※	—	18回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (振動診断：4M(対象：ポンプ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
		2.分解点検(ポンプ)		CBM	—	7回		
		3.簡易点検(潤滑油入替)		182M 39M	—	18回 22回		
	34B 廃液蒸留水ポンプ・電動機	1.機能・性能試験	低	B※	—	14回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (振動診断：4M(対象：ポンプ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
		2.分解点検(ポンプ)		CBM	—	3回		
		3.簡易点検(潤滑油入替)		208M 39M	○	14回 21回		
	34 廃液貯蔵タンク循環ポンプ・電動機	1.機能・性能試験	低	B※	○	21回	液体廃棄物処理系設備検査	※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
		2.分解点検(ポンプ)		260M	○	8回		
		3.簡易点検(潤滑油入替)		91M 91M	—	21回 21回		
液体廃棄物貯蔵設備及び処理設備の漏えい防止に係る警報機能	1.特性試験	低	13M	○	23回	液体廃棄物貯蔵設備・処理設備の警報機能検査	液体廃棄物貯蔵設備・処理設備の警報機能検査	
	2.機能・性能試験		1F	○	23回			
	1.特性検査		13M	○	23回			
液体状態の放射性廃棄物の漏えいの検出装置及び警報装置(34酸液ドレンタンク水位伝送器)	1.機能・性能試験	低	1F	○	23回	液体廃棄物処理系アラームト固化設備機能検査	液体廃棄物処理系アラームト固化設備機能検査	
	2.機能・性能試験		1F	○	23回			
	1.特性検査		13M	○	23回			
アスファルト固化設備	1.機能・性能試験	低	1F	○	23回	液体廃棄物処理系アラームト固化設備機能検査	液体廃棄物処理系アラームト固化設備機能検査	
	2.機能・性能試験		1F	○	23回			
	1.特性検査		13M	○	23回			
アスファルト固化設備(弁、機器)	1.機能・性能試験	低	B	○	18回※	1次系安全弁検査 1次系逆止弁検査	先行実施 ※アスファルト固化定検回次、今回は27回	
	2.分解点検		195M~260M	○	26回※			
	3.簡易点検(グラウンドパッキン取替)		13M~260M	○	26回※			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回次)	検査名	備考 ( )内は適用する 設備診断技術)
放射性廃棄物の廃棄施設 〔気体、液体又は固体廃棄物処理設備〕	使用済樹脂スループ・電動機	1.機能・性能試験	低	B※	○	21回	固体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (振動診断：6M(対象：ポンプ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
		2.分解点検(ポンプ)		—	7回			
		3.簡易点検(潤滑油入替)		○	21回			
放射性廃棄物の廃棄施設 〔気体、液体又は固体廃棄物処理設備〕 その他の予	1式	1.機能・性能試験	高・低	B	○	23回	1次系安全弁検査	一部先行実施
		2.分解点検		○	23回			
		1.分解点検他		○	23回			
放射性廃棄物の廃棄施設 〔気体、液体又は固体廃棄物処理設備〕 その他の機器	1式	1.分解点検他	高	10AM~130M	○	23回	一部BMあり	一部先行実施
		1.機能・性能試験		○	23回			
		1.機能・性能試験		○	23回			
放射性廃棄物の廃棄施設 〔原子炉格納容器本体からの貯蔵設備又は廃棄物処理設備からの液体状の放射性廃棄物の漏えいの検出装置又は自動警報装置〕	1式	1.機能・性能試験	低	1F	○	23回	流体状の放射性廃棄物の漏えいの検出装置及び警報装置機能検査(最終の流入サンブ)	※アス固化定検回次、今回は26回
		1.機能・性能試験		○	23回			
		1.機能・性能試験		○	23回			
放射線管理施設 〔放射線管理用計測装置〕	格納容器内高レジンジェリアモニタ	1.特性試験	高	13M	○	23回	エリアモニタ機能検査	21回施設定期検査より追加
		1.機能・性能試験		○	23回			
		2.特性試験		○	23回			
格納容器排気筒ガスモニタ(3R-21)	補助建屋排気筒ガスモニタ(3R-26)	1.機能・性能試験	高	13M	○	23回	放射線監視装置機能検査	
		2.特性試験		○	23回			
		1.機能・性能試験		○	23回			
格納容器じんあいモニタ(3R-40)	格納容器ガスモニタ(3R-41)	1.機能・性能試験	低	1F	○	23回	放射線監視装置機能検査	
		2.特性試験		○	23回			
		1.機能・性能試験		○	23回			
格納容器排気筒ガスモニタ(3R-43)	安全補機室排気筒ガスモニタ(3R-46)	1.機能・性能試験	高	13M	○	23回	放射線監視装置機能検査	一部定期事業者検査起動後
		2.特性試験		○	23回			
		1.機能・性能試験		○	23回			
格納容器排気筒ガスモニタ(3R-48A)	一般補機室排気筒ガスモニタ(3R-48B)	1.機能・性能試験	低	13M	○	23回	放射線監視装置機能検査	
		2.特性試験		○	23回			
		1.機能・性能試験		○	23回			
使用済燃料ピット排気筒ガスモニタ(3R-49)	建屋内漏洩検知ガスモニタB(3R-50A)	1.機能・性能試験	低	13M	○	23回	放射線監視装置機能検査	
		2.特性試験		○	23回			
		1.機能・性能試験		○	23回			
蒸気発生器ブローダウン水モニタ(3R-55)	蒸気発生器ブローダウン水モニタ(3R-55)	1.機能・性能試験	高	1F	○	23回	放射線監視装置機能検査	一部定期事業者検査起動後
		2.特性試験		○	23回			
		1.機能・性能試験		○	23回			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する設備診断技術)
放射線管理施設 [放射線管理用計測装置]	原子炉補機冷却水モニタ (3R-56)	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	低	1F	○	23回	放射線監視装置機能検査	
	補助蒸気復水モニタ (3R-57)	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	低	13M	○	23回	放射線監視装置機能検査	
	タービンサンプ水モニタ (3R-58)	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	低	13M	○	23回	放射線監視装置機能検査	
	I 次系建屋基礎湧水モニタ (3R-59)	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	低	13M	○	23回	放射線監視装置機能検査	
	A 高感度型主蒸気管モニタ (3R-65)	1. 特性試験	高	13M	○	23回	放射線監視装置機能検査	一部定期事業者検査起動後
	B 高感度型主蒸気管モニタ (3R-66)	1. 特性試験	高	13M	○	23回	放射線監視装置機能検査	一部定期事業者検査起動後
	C 高感度型主蒸気管モニタ (3R-67)	1. 特性試験	高	13M	○	23回	放射線監視装置機能検査	一部定期事業者検査起動後
	I 次冷却材連続モニタ (3R-70)	1. 特性試験	低	13M	○	23回	放射線監視装置機能検査	
	ほう酸蒸留水モニタ (3R-71)	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	低	1F 13M	○ ○	23回 23回	放射線監視装置機能検査	
	格納容器排気筒高レンジガスマニタ (低レンジ) (3R-80A)	1. 特性試験	高	13M	○	23回	放射線監視装置機能検査	
	格納容器排気筒高レンジガスマニタ (高レンジ) (3R-80B)	1. 特性試験	高	13M	○	23回	放射線監視装置機能検査	
	補助建屋排気筒高レンジガスマニタ (低レンジ) (3R-81A)	1. 特性試験	高	13M	○	23回	放射線監視装置機能検査	
	補助建屋排気筒高レンジガスマニタ (高レンジ) (3R-81B)	1. 特性試験	高	13M	○	23回	放射線監視装置機能検査	
	A 主蒸気管モニタ (3R-87)	1. 特性試験	高	13M	○	23回	放射線監視装置機能検査	
	B 主蒸気管モニタ (3R-88)	1. 特性試験	高	13M	○	23回	放射線監視装置機能検査	
	C 主蒸気管モニタ (3R-89)	1. 特性試験	高	13M	○	23回	放射線監視装置機能検査	
	放水口水モニタ (34R-99)	1. 特性試験	低	13M	○	23回	放射線監視装置機能検査	
	中央制御室エリアモニタ (34R-1)	1. 特性試験	低	13M	○	23回	放射線監視装置機能検査	
	格納容器内エアロック区域エリアモニタ (3R-2)	1. 特性試験	低	13M	○	23回	放射線監視装置機能検査	
	放射化学室エリアモニタ (34R-3)	1. 特性試験	低	13M	○	23回	放射線監視装置機能検査	
A 充てんポンプ室エリアモニタ (3R-4A)	1. 特性試験	低	13M	○	23回	放射線監視装置機能検査		
B 充てんポンプ室エリアモニタ (3R-4B)	1. 特性試験	低	13M	○	23回	放射線監視装置機能検査		
C 充てんポンプ室エリアモニタ (3R-4C)	1. 特性試験	低	13M	○	23回	放射線監視装置機能検査		
使用済燃料ピット区域エリアモニタ (3R-5)	1. 特性試験	低	13M	○	23回	放射線監視装置機能検査		
サンプリング室エリアモニタ (34R-6)	1. 特性試験	低	13M	○	23回	放射線監視装置機能検査		
炉内計装区域エリアモニタ (3R-7)	1. 特性試験	低	13M	○	23回	放射線監視装置機能検査		
アスファルト固化装置下ラム充てん監視区域エリアモニタ (34R-9A)	1. 特性試験	低	13M	○	23回	放射線監視装置機能検査		
充てんドラム貯蔵室クレーン操作区域エリアモニタ (34R-9B)	1. 特性試験	低	13M	○	23回	放射線監視装置機能検査		
格納容器内オホベレーティングフロアエリアモニタ (3R-10)	1. 特性試験	低	13M	○	23回	放射線監視装置機能検査		
I 次系補機操作室エリアモニタ (34R-11)	1. 特性試験	低	13M	○	23回	放射線監視装置機能検査		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回次)	検査名	備考 ( )内は適用する設備(診断技術)
放射線管理施設 [放射線管理用計測装置]	可搬式使用済燃料ピット区域周辺エリアモニタ	2台	高	13M	○	23回	放射線監視装置機能検査	プラント運転中又は定期事業者検査停止中 21回施設定期検査時に設置
	放射線管理施設 [放射線管理用計測装置] その他の弁	1式	高	130M	—	21回	1次系弁検査	
	放射線管理施設 [放射線管理用計測装置] その他機器	1式	高	13M	○	23回		
	放射線管理施設 [放射線管理用計測装置] その他機器	1式	低	13M	○	23回		
	放射線管理施設 [放射線管理用計測装置] その他機器	1式	高	6V	—	21回	中央制御室の居住性確認検査	一部BMあり 21回施設定期検査より追加
	放射線管理施設 [放射線管理用計測装置] その他機器	1式	高	1F	○	23回	緊急時対策所の居住性確認検査	21回施設定期検査時に設置 21回施設定期検査より追加
	放射線管理施設 [放射線管理用計測装置] その他機器	1式	高	3M~1F	○	23回		21回施設定期検査時に設置
	放射線管理施設 [放射線管理用計測装置] その他機器	1式	低	1F	○	23回	1次系換気空調設備検査	先行実施
	放射線管理施設 [放射線管理用計測装置] その他機器	1式	低	4F	—	22回		
	放射線管理施設 [放射線管理用計測装置] その他機器	1式	低	4F	○	23回	1次系換気空調設備検査	先行実施
放射線管理施設 [換気設備]	A格納容器排気フィルタユニット	2. 開放点検	低	4F	○	20回		
	B格納容器排気フィルタユニット	1. 機能・性能試験	低	1F	○	23回	1次系換気空調設備検査	
	A格納容器空気浄化フィルタユニット	2. 開放点検	低	4F	—	22回		
	B格納容器空気浄化フィルタユニット	1. 機能・性能試験	低	1F	○	23回	1次系換気空調設備検査	
	中央制御室非常用循環系 (A系列)	2. 開放点検	高	4F	—	22回		
	中央制御室非常用循環系 (A系列)	1. 機能・性能試験 (ファン、電動機、弁、弁駆動部等含む)	高	1F	○	23回	中央制御室非常用循環系機能検査	
	中央制御室非常用循環系 (B系列)	1. 機能・性能試験 (ファン、電動機、弁、弁駆動部等含む)	高	1F	—	21回※	中央制御室非常用循環系機能検査	4号設備 ※4号での実績
	中央制御室非常用循環系 (A系列)	1. 素子フィルタ性能検査 (素子除去効率検査)	高	1F	○	23回	中央制御室非常用循環系フィルタ性能検査	
	中央制御室非常用循環系 (B系列)	2. 機能・性能試験	高	1F	○	23回	中央制御室非常用循環系フィルタ性能検査	
	中央制御室非常用循環系 (A系列)	3. 開放点検 (フィルタ取替)	高	X※	○	22回	1次系換気空調設備検査	※より素子フィルタ性能検査結果により適宜実施
放射線管理施設 [換気設備]	中央制御室非常用循環系 (A系列)	3. 開放点検	高	4F	—	22回		
	中央制御室非常用循環系 (B系列)	1. 素子フィルタ性能検査 (素子除去効率検査)	高	1F	—	21回※	中央制御室非常用循環系フィルタ性能検査	4号設備 ※4号での実績
	中央制御室非常用循環系 (A系列)	1. 素子フィルタ性能検査 (素子除去効率検査)	高	1F	—	21回※	中央制御室非常用循環系フィルタ性能検査	
	中央制御室非常用循環系 (B系列)	2. 機能・性能試験	高	1F	—	21回※	中央制御室非常用循環系フィルタ性能検査	
	中央制御室非常用循環系 (A系列)	3. 開放点検 (フィルタ取替)	高	X※1	—	20回※2	1次系換気空調設備検査	4号設備 ※1:より素子フィルタ性能検査結果により適宜実施 ※2:4号での実績
	中央制御室非常用循環系 (B系列)	3. 開放点検	高	4F	—	18回※		4号設備 ※4号での実績

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する設備診断技術)
放射線管理施設 [換気設備]	34A 放射線管理室排気フィルタユニット	1.機能・性能試験	低	1F	○	23回	1次系換気空調設備検査	先行実施
		2.開放点検		4F	-	22回		
		1.機能・性能試験		1F	○	23回		
	34B 放射線管理室排気フィルタユニット	1.機能・性能試験	低	4F	-	22回	1次系換気空調設備検査	先行実施
		2.開放点検		1F	○	23回		
		1.機能・性能試験		4F	-	22回		
	緊急時対策所可搬型空浄化フィルタユニット 4台	1.機能・性能試験 (よう素フィルタ性能検査)	高	1Y	○	23回	可搬型換気空調設備検査	先行実施 21回施設定期検査より追加 21回施設定期検査より追加
		1.機能・性能試験 (よう素フィルタ性能検査)		1Y	○	-		
		1.機能・性能試験 (よう素フィルタ性能検査)		1Y	○	-		
	緊急時対策所非常用空浄化フィルタユニット (34号機 一部使用承認設備を対象)	1.機能・性能試験 (よう素フィルタ性能検査)	高	1Y	○	-	可搬型換気空調設備検査	プラント運転中又は定期事業者検査 停止中 2019年6月に設置 先行実施
		1.機能・性能試験 (よう素フィルタ性能検査)		1Y	○	-		
		1.機能・性能試験 (よう素フィルタ性能検査)		1Y	○	-		
	A 補助建屋排気フィルタユニット	1.機能・性能試験	低	1F	○	23回	1次系換気空調設備検査	先行実施
		2.開放点検		4F	-	22回		
		1.機能・性能試験		1F	○	23回		
	B 補助建屋排気フィルタユニット	1.機能・性能試験	低	4F	-	22回	1次系換気空調設備検査	先行実施
		2.開放点検		1F	○	23回		
		1.機能・性能試験		4F	-	22回		
	燃料取扱室排気フィルタユニット	1.機能・性能試験	低	1F	○	22回	1次系換気空調設備検査	先行実施
		2.開放点検		4F	-	22回		
		1.機能・性能試験		1F	○	23回		
	34Bペイラ排気フィルタユニット	1.機能・性能試験	低	1F	○	23回	1次系換気空調設備検査	先行実施
		2.開放点検		4F	-	22回		
		1.機能・性能試験		1F	○	23回		
	34C ホット工作室排気フィルタユニット	1.機能・性能試験	低	1F	○	23回	1次系換気空調設備検査	先行実施
		2.開放点検		4F	-	22回		
		1.機能・性能試験		1F	○	23回		
	34A 中央制御室空調ユニット	1.開放点検	高	52M	-	22回	1次系換気空調設備検査	先行実施
		2.開放点検		52M	-	22回		
		1.開放点検		52M	-	20回※		
	34B 中央制御室空調ユニット	1.開放点検	高	52M	-	22回	1次系換気空調設備検査	先行実施
		2.開放点検		52M	-	20回※		
		1.開放点検		52M	-	20回※		
34C 中央制御室空調ユニット	1.開放点検	高	52M	-	20回※	1次系換気空調設備検査	4号設備 ※4号での実績 4号設備 ※4号での実績	
	2.開放点検		52M	-	21回			
	1.開放点検		52M	-	21回			
34D 中央制御室空調ユニット	1.開放点検	低	52M	-	21回	1次系換気空調設備検査	先行実施	
	2.開放点検		52M	-	21回			
	1.開放点検		52M	-	22回			
A 格納容器給気ユニット	1.機能・性能試験	低	1F	○	23回	1次系換気空調設備検査	先行実施	
	2.分解点検 (ファン)		260M	-	21回			
	1.機能・性能試験		1F	○	8回			
B 格納容器給気ユニット	1.機能・性能試験	低	CBM	-	23回	1次系換気空調設備検査 (対象：電動機)	先行実施 (対象：電動機)	
	2.分解点検 (ファン)		CBM	-	21回			
	1.機能・性能試験		1F	○	23回			
3・4 放射線管理室給気ユニット	1.機能・性能試験	低	260M	-	3回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (対象：電動機)	
	2.分解点検 (ファン)		CBM	-	21回			
	1.機能・性能試験		1F	○	23回			
A 格納容器排気ファン・電動機	1.機能・性能試験	低	1F	○	23回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (対象：電動機)	
	2.分解点検 (ファン)		260M	-	21回			
	1.機能・性能試験		1F	○	23回			
B 格納容器排気ファン・電動機	1.機能・性能試験	低	CBM	-	3回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (対象：電動機)	
	2.分解点検 (ファン)		CBM	-	21回			
	1.機能・性能試験		1F	○	23回			
A 格納容器排気ファン・電動機	1.機能・性能試験	低	1F	○	23回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (対象：電動機)	
	2.分解点検 (ファン)		260M	-	21回			
	1.機能・性能試験		1F	○	23回			
B 格納容器排気ファン・電動機	1.機能・性能試験	低	1F	○	23回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (対象：電動機)	
	2.分解点検 (ファン)		260M	-	21回			
	1.機能・性能試験		1F	○	23回			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回次)	検査名	備考 ( )内は適用する設備(診断技術)
放射線管理施設 [換気設備]	A 格納容器再循環ファン・電動機	1.機能・性能試験	高	1F	○	23回	1次系換気空調設備検査	
		2.分解点検(ファン)		260M	—	22回		
		2.分解点検(電動機)		104M	○	22回		
		3.簡易点検(潤滑油入替)		26M	○	22回		
		1.機能・性能試験		1F	○	23回		
		2.分解点検(ファン)		260M	—	19回		
	B 格納容器再循環ファン・電動機	2.分解点検(電動機)	104M	○	22回			
		3.簡易点検(潤滑油入替)	26M	○	22回			
		1.機能・性能試験	1F	○	23回			
		2.分解点検(ファン)	260M	—	20回			
		2.分解点検(電動機)	104M	—	23回			
		3.簡易点検(潤滑油入替)	26M	—	23回			
	C 格納容器再循環ファン・電動機	1.機能・性能試験	1F	○	23回			
		2.分解点検(ファン)	260M	—	20回			
		2.分解点検(電動機)	104M	—	23回			
		3.簡易点検(潤滑油入替)	26M	—	23回			
		1.機能・性能試験	1F	○	23回			
		2.分解点検(ファン)	260M	—	21回			
	D 格納容器再循環ファン・電動機	2.分解点検(電動機)	104M	—	23回			
		3.簡易点検(潤滑油入替)	26M	—	23回			
		1.機能・性能試験	1F	○	23回			
		2.分解点検(ファン)	260M	—	21回			
		2.分解点検(電動機)	91M	—	21回			
		1.機能・性能試験	1F	○	23回			
A 格納容器空気浄化ファン・電動機	2.分解点検(ファン)	260M	—	21回				
	2.分解点検(電動機)	91M	—	21回				
	1.機能・性能試験	1F	○	23回				
	2.分解点検(ファン)	260M	—	18回				
	2.分解点検(電動機)	91M	—	22回				
	1.機能・性能試験	1F	○	23回				
B 格納容器空気浄化ファン・電動機	2.分解点検(ファン)	260M	—	20回				
	2.分解点検(電動機)	78M	—	22回				
	1.機能・性能試験	1F	○	23回				
	2.分解点検(ファン)	260M	—	20回				
	2.分解点検(電動機)	78M	—	22回				
	1.機能・性能試験	1F	○	23回				
34A 中央制御室空調ファン・電動機	2.分解点検(ファン)	260M	—	22回				
	2.分解点検(電動機)	78M	—	20回				
	1.機能・性能試験	1F	○	23回				
	2.分解点検(ファン)	260M	—	22回				
	2.分解点検(電動機)	78M	—	20回				
	1.機能・性能試験	1F	○	23回				
34B 中央制御室空調ファン・電動機	2.分解点検(ファン)	260M	—	17回				
	2.分解点検(電動機)	78M	○	21回				
	1.機能・性能試験	1F	—	21回※				
	2.分解点検(ファン)	260M	—	16回※				
	2.分解点検(電動機)	78M	—	20回※				
	1.機能・性能試験	1F	—	21回※				
34C 中央制御室空調ファン・電動機	2.分解点検(ファン)	260M	—	17回※				
	2.分解点検(電動機)	78M	—	16回※				
	1.機能・性能試験	1F	—	21回※				
	2.分解点検(ファン)	260M	—	17回※				
	2.分解点検(電動機)	78M	—	16回※				
	1.機能・性能試験	1F	—	21回※				

機器又は系統名	実施致(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回次)	検査名	備考 (○内は適用する設備診断技術)		
放射線管理施設 [換気設備]	34A 中央制御室循環ファン・電動機	1.機能・性能試験	高	1F	○	23回	1次系換気空調設備検査	(振動診断: 4M (対象: 電動機))		
		2.分解点検(ファン)		260M	-	19回				
		2.分解点検(電動機)		78M	-	22回				
		1.機能・性能試験		1F	○	23回			1次系換気空調設備検査	(振動診断: 4M (対象: 電動機))
		2.分解点検(ファン)		260M	-	15回				
		2.分解点検(電動機)		78M	○	21回				
	1.機能・性能試験	1F	-	20回※	1次系換気空調設備検査	(振動診断: 4M (対象: 電動機))				
	2.分解点検(ファン)	260M	-	20回※						
	2.分解点検(電動機)	78M	-	20回※			※4号での実績			
	34D 中央制御室循環ファン・電動機	1.機能・性能試験	1F	-			20回※	1次系換気空調設備検査	(振動診断: 4M (対象: 電動機))	
		2.分解点検(ファン)	260M	-			16回※			
		2.分解点検(電動機)	78M	-			20回※			※4号での実績
		34A 中央制御室非常用循環ファン・電動機	1.機能・性能試験	1F	-	23回	1次系換気空調設備検査			(振動診断: 1M)
			2.分解点検(ファン)	260M	-	16回				
			2.分解点検(電動機)	117M	-	21回				
	34B 中央制御室非常用循環ファン・電動機		1.機能・性能試験	1F	-	23回		1次系換気空調設備検査	(振動診断: 1M)	
			2.分解点検(ファン)	260M	-	17回				
			2.分解点検(電動機)	117M	○	19回				
		34C 中央制御室非常用循環ファン・電動機	1.機能・性能試験	1F	-	21回※	1次系換気空調設備検査			(振動診断: 1M)
			2.分解点検(ファン)	260M	-	16回※				
			2.分解点検(電動機)	117M	-	17回※				
	34D 中央制御室非常用循環ファン・電動機		1.機能・性能試験	1F	-	21回※		1次系換気空調設備検査	(振動診断: 1M)	
			2.分解点検(ファン)	260M	-	16回※				
			2.分解点検(電動機)	117M	-	19回※				
緊急時対策所可搬型空気浄化ファン 4台		1.機能・性能試験	1Y	○	23回	先行実施 21回施設定期検査に設置 21回施設定期検査より追加				
34A 放射線管理室給気ファン・電動機		1.機能・性能試験	1F	-	23回	1次系換気空調設備検査	先行実施			
	2.分解点検(ファン)	260M	-	7回						
	2.分解点検(電動機)	104M	-	21回						
	34B 放射線管理室給気ファン・電動機	1.機能・性能試験	1F	○	23回			1次系換気空調設備検査	先行実施	
		2.分解点検(ファン)	260M	-	16回					
		2.分解点検(電動機)	104M	-	21回					
34A 放射線管理室排気ファン・電動機		1.機能・性能試験	1F	○	23回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断: 4M (対象: ファン))			
		2.分解点検(ファン)	260M	-	20回					
		2.分解点検(電動機)	78M	-	21回					
	34B 放射線管理室排気ファン・電動機	1.機能・性能試験	1F	○	23回			1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断: 4M (対象: ファン))	
		2.分解点検(ファン)	260M	-	17回					
		2.分解点検(電動機)	78M	-	23回					



機器又は系統名	実施致(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回次)	検査名	備考 (○内は適用する設備診断技術)	
放射線管理施設 [換気設備]	A 補助建屋給気ファン・電動機	1.機能・性能試験	低	IF	○	23回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断; 4M (対象: 電動機))	
		2.分解点検(ファン)		260M	-	21回			
		2.分解点検(電動機)		CBM	-	14回			
	B 補助建屋給気ファン・電動機	3.簡易点検(モーター内部清掃)	低	156M	-	21回			
		1.機能・性能試験		IF	○	23回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断; 4M (対象: 電動機))	
		2.分解点検(ファン)		260M	-	21回			
	2.分解点検(電動機)	CBM	-	7回					
	C 補助建屋排気ファン・電動機	3.簡易点検(モーター内部清掃)	低	156M	-	21回			
		1.機能・性能試験		IF	○	23回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断; 4M)	
		2.分解点検(ファン)		260M	-	15回			
	2.分解点検(電動機)	104M	-	21回					
	A 燃料取扱室給気ファン・電動機	1.機能・性能試験	低	IF	○	23回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断; 4M)	
		2.分解点検(ファン)		260M	-	17回			
		2.分解点検(電動機)		104M	○	20回			
	B 燃料取扱室給気ファン・電動機	1.機能・性能試験	低	IF	○	23回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断; 4M (対象: 電動機))	
		2.分解点検(ファン)		260M	-	21回			
		2.分解点検(電動機)		CBM	-	7回			
	A 燃料取扱室排気ファン・電動機	1.機能・性能試験	低	IF	○	23回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断; 4M)	
		2.分解点検(ファン)		260M	-	21回			
		2.分解点検(電動機)		CBM	-	21回			
	B 燃料取扱室排気ファン・電動機	1.機能・性能試験	低	IF	○	23回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断; 4M)	
		2.分解点検(ファン)		260M	-	20回			
		2.分解点検(電動機)		CBM	-	21回			
	34ベイヤ排気ファン・電動機	1.機能・性能試験	低	IF	○	23回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断; 4M)	
2.分解点検(ファン)		260M		-	21回				
2.分解点検(電動機)		CBM		-	21回				
34ホット工作室排気ファン・電動機	1.機能・性能試験	低	IF	○	23回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断; 4M)		
	2.分解点検(ファン)		260M	-	21回				
	2.分解点検(電動機)		CBM	-	21回				
34廃棄物処理建屋送気ファン・電動機	1.機能・性能試験	低	IF	○	23回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断; 4M)		
	2.分解点検(ファン)		260M	-	20回				
	2.分解点検(電動機)		156M	-	18回				
34廃棄物処理建屋排気ファン・電動機	1.機能・性能試験	低	IF	○	23回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断; 4M)		
	2.分解点検(ファン)		260M	-	16回				
	2.分解点検(電動機)		156M	-	16回				
34廃棄物処理建屋排気ファン・電動機	1.機能・性能試験	低	IF	○	23回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断; 4M)		
	2.分解点検(ファン)		260M	-	21回				
	2.分解点検(電動機)		78M	-	21回				
34廃棄物処理建屋排気ファン・電動機	1.機能・性能試験	低	IF	○	23回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断; 4M)		
	2.分解点検(ファン)		260M	-	21回				
	2.分解点検(電動機)		78M	-	21回				

機器又は系統名	実施致(機器名)		点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回次)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術)
放射線管理施設 [換気設備]	自動ダンプ	1式	1.機能・性能試験 2.分解点検他	高・低	1F 65M~130M B	○	23回	1次系換気空調設備検査	一部先行実施
	放射線管理施設 [換気設備] その他の弁	1式	1.機能・性能試験 2.分解点検	高	130M	—	20回	1次系安全弁検査 1次系弁検査 1次系逆止弁検査	
放射線管理施設 [その他設備]	放射線管理施設 [換気設備] その他機器	1式	1.分解点検他 1.分解点検他	高 低	1Y~260M 13M~260M	○	23回		一部先行実施
	可搬型気象観測装置	1式	1.特性試験	高	1Y	○	23回	21回施設定検時に設置	一部BMあり
原子炉格納施設 [原子炉格納容器]	原子炉格納容器		1.漏えい率試験	高	3F	○	21回	原子炉格納容器全体漏えい率検査	10年に1回は設計圧力にて実施 (第27回において設計圧力にて実施 予定)
	エアロツク	通常用 1個	1.漏えい率試験	高	2回/3F	—	23回	原子炉格納容器局部漏えい率検査	
			2.分解点検		52M	○	20回		
			3.簡易点検 (パッキン取替他)		13M	○	23回		
	非常用 1個	非常用 1個	1.漏えい率試験	高	2回/3F	—	23回	原子炉格納容器局部漏えい率検査	
			2.分解点検		52M	—	23回		
			3.簡易点検 (パッキン取替他)		13M	○	23回		
	機器搬入口	1個	1.漏えい率試験	高	2回/3F	—	23回	原子炉格納容器局部漏えい率検査	
			2.非破壊試験		25%/10Y	—	22回	原子炉格納容器供用期間中検査	ISIプログラムによる。 [別表-6]
			3.開放点検		13M	○	23回		
	配管貫通部	1式	1.漏えい率試験	高	2回/3F	—	23回	原子炉格納容器局部漏えい率検査	
			2.開放点検		開放時※	—	21回		※但し、最長1回/10定検
電線貫通部	1式	1.漏えい率試験	高	2回/3F	—	23回	原子炉格納容器局部漏えい率検査		
		1.漏えい率試験	高	2回/3F	—	23回	原子炉格納容器局部漏えい率検査		
原子炉格納容器隔離弁	1式	1.漏えい率試験	高	2回/3F	—	23回	原子炉格納容器局部漏えい率検査		
		1.機能・性能試験 (弁、弁駆動部等含む)	高	1F	○	23回	原子炉格納容器隔離弁機能検査		
格納容器隔離信号 (T・V信号) により隔離される弁	70個	1.機能・性能試験 (弁、弁駆動部等含む)	高	1F	○	23回	原子炉格納容器隔離弁機能検査		
		1.機能・性能試験 (弁、弁駆動部等含む)	高	1F	○	23回	原子炉格納容器隔離弁機能検査		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回次)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術)		
原子炉格納施設 [原子炉格納容器]	原子炉格納容器隔離弁	3V-CS-004A	高	52M	-	22回	原子炉格納容器隔離弁分解検査			
		3V-CS-004B	高	52M	-	22回	原子炉格納容器隔離弁分解検査			
		3V-CS-004C	高	52M	-	22回	原子炉格納容器隔離弁分解検査			
		3V-DP-001A	高	130M	-	22回	原子炉格納容器隔離弁分解検査			
		3V-DP-001B	高	130M	-	21回	原子炉格納容器隔離弁分解検査			
		3V-DP-003A	高	130M	-	22回	原子炉格納容器隔離弁分解検査			
		3V-DP-003B	高	130M	-	23回	原子炉格納容器隔離弁分解検査			
		3V-WL-355	高	130M	-	21回	原子炉格納容器隔離弁分解検査			
		3V-WL-019	高	130M	-	18回	原子炉格納容器隔離弁分解検査			
		3V-CS-007	高	52M	-	23回	原子炉格納容器隔離弁分解検査			
		3V-WL-354	高	130M	-	21回	原子炉格納容器隔離弁分解検査			
		3V-WL-018	高	130M	-	18回	原子炉格納容器隔離弁分解検査			
		3V-VR-001A	高	130M	-	19回	原子炉格納容器隔離弁分解検査			
		3V-VR-001B	高	130M	-	19回	原子炉格納容器隔離弁分解検査			
		3V-VR-002A	高	130M	-	23回	原子炉格納容器隔離弁分解検査			
		3V-VR-002B	高	130M	-	19回	原子炉格納容器隔離弁分解検査			
		3V-IA-508A	高	130M	○	17回	原子炉格納容器隔離弁分解検査			
		3V-CS-308	高	130M	-	21回	原子炉格納容器隔離弁分解検査			
		3V-CS-310	高	130M	-	22回	原子炉格納容器隔離弁分解検査			
		3V-CC-489	高	130M	-	18回	原子炉格納容器隔離弁分解検査			
		3V-CC-482	高	130M	-	18回	原子炉格納容器隔離弁分解検査			
		3V-CC-523	高	130M	-	22回	原子炉格納容器隔離弁分解検査			
		3V-CC-521	高	130M	-	21回	原子炉格納容器隔離弁分解検査			
		3V-CC-546	高	130M	-	20回	原子炉格納容器隔離弁分解検査			
		3V-CC-544	高	130M	-	21回	原子炉格納容器隔離弁分解検査			
		3V-IA-508B	高	130M	-	19回	原子炉格納容器隔離弁分解検査			
		1式		1. 簡易点検(グラウンド ハンキンを取替他)	高	65M	○	23回		
		原子炉格納容器隔離弁駆動部	1式	1. 簡易点検 2. 簡易点検(特性試験他)	高	52M~156M 52M~130M	○ ○	23回 23回		
		原子炉格納容器真空逃がし弁	4個	1. 機能・性能試験 2. 簡易点検(漏えい試験)	高	1F	○	23回	原子炉格納容器真空逃がし弁機能検査	
		原子炉格納施設「原子炉格納容器」その 他の弁	1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検(グラウンド ハンキンを取替)	高	B 52M~130M 52M	○ ○ -	23回 23回 23回	1 次系弁検査 1 次系弁検査 2 次系弁検査	
		原子炉格納施設「原子炉格納容器」その 他の弁駆動部	1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検	高	B 13M~65M	○ ○	23回 23回	1 次系弁検査	
		原子炉格納施設「原子炉格納容器」その 他機器	1式	1. 分解点検他 1. 分解点検他	高 低	13M~130M 130M	○ -	23回 22回		一部B.Mあり

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回次)	検査名	備考 (○内は適用する設備診断技術)
原子炉格納施設 〔圧力低減設備その他の安全設備〕	原子炉格納容器スプレイス	1. 機能・性能試験(ポンプ、電動機、弁、弁駆動部等含む)	高	IF	○	23回	原子炉格納容器安全系機能検査	[対象設備] ・ A原子炉格納容器スプレイスによる代替炉心注入系 21回施設定期検査より追加
		2. 機能・性能試験(ポンプ、電動機、弁、弁駆動部等含む)					その他原子炉注水系機能検査	
		3. 機能・性能試験(状態監視含む)					プラント運転中 [対象設備] ・ A、B格納容器スプレイス	
	A 原子炉格納容器スプレイスポンプ・電動機	1. 分解点検(ポンプ)	高	130M	-	19回	原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査	(振動診断: 1M) その他原子炉注水系ポンプ分解検査 は21回施設定期検査より追加
		1. 分解点検(電動機)						
		2. 簡易点検(潤滑油入管他)					その他原子炉注水系ポンプ分解検査	
	B 原子炉格納容器スプレイスポンプ・電動機	1. 分解点検(ポンプ)	高	130M	-	23回	原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査	(振動診断: 1M)
		1. 分解点検(電動機)						
		2. 簡易点検(潤滑油入管他)						
	A 格納容器スプレイス冷却器	1. 開放点検(管側)	高	130M	-	19回		
		1. 開放点検(胴側)						
		2. 非破壊試験						
	B 格納容器スプレイス冷却器	1. 開放点検(管側)	高	130M	-	19回	1次系熱交換器検査	
		1. 開放点検(胴側)						
		2. 非破壊試験						
原子炉格納容器スプレイス系主要弁	3V-CP-024A	1. 分解点検	高	130M	-	22回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
	3V-CP-024B	1. 分解点検	高	130M	-	22回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
	3V-CP-054A	1. 分解点検	高	130M	-	22回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
	3V-CP-054B	1. 分解点検	高	130M	-	23回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
	3V-CP-001A	1. 分解点検	高	130M	-	22回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
	3V-CP-001B	1. 分解点検	高	130M	-	23回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
	3V-CP-003A	1. 分解点検	高	130M	-	21回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
	3V-CP-003B	1. 分解点検	高	130M	-	22回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
	1式	1. 分解点検	高	156M	-	20回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回次)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術		
原子炉格納施設 〔圧力低減設備その他の安全設備〕	可燃性ガス濃度制御系主要弁	3V-VS-101A	高	65M	—	21回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	21回施設定期検査より追加		
		3V-VS-101B	高	65M	—	22回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	21回施設定期検査より追加		
		3V-VS-102A	高	65M	—	21回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	21回施設定期検査より追加		
		3V-VS-102B	高	65M	—	22回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	21回施設定期検査より追加		
		3V-VS-103A	高	65M	—	21回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	21回施設定期検査より追加		
		3V-VS-103B	高	65M	—	21回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	21回施設定期検査より追加		
		3-PCV-2465	高	65M	—	21回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	21回施設定期検査より追加		
		3-PCV-2485	高	65M	—	23回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	21回施設定期検査より追加		
		よう素除去薬品タンク よう素除去薬品タンクバキュームリリーフ弁	1.開放点検	高	130M	—	20回			
			1.分解点検	高	130M	—	20回	1次系真空破壊弁検査		
		Aニュウラス空気浄化系	1.機能・性能試験(ファン、電動機、弁、弁駆動部等含む)	高	1F	○	23回	アニュウラス循環排気系機能検査		
			1.よう素フィルタ性能検査(よう素除去効率検査)	高	1F	○	23回	アニュウラス循環排気系フィルタ性能検査	A系、B系交互に実施	
	A、Bアニュウラス空気浄化フィルタユニット	1.よう素フィルタ性能検査(漏えい率検査)	高	1F	○	23回	アニュウラス循環排気系フィルタ性能検査			
		2.開放点検(フィルタ取替)	高	X**	○	21回		※よう素フィルタ性能検査結果により適宜実施		
		1.機能・性能試験	高	1F	○	23回	1次系換気空調設備検査			
		2.開放点検	高	4F	—	22回				
	A系	1.機能・性能試験	高	4F	—	22回				
		2.開放点検	高	1F	○	23回	1次系換気空調設備検査			
	B系	1.機能・性能試験	高	1F	○	23回	1次系換気空調設備検査			
		2.開放点検	高	4F	—	22回				
	Aアニュウラス空気浄化ファン・電動機	1.機能・性能試験	高	1F	○	23回	1次系換気空調設備検査		(振動診断：1M)	
		2.分解点検(ファン)	高	260M	—	20回				
		1.機能・性能試験	高	78M	—	22回				
		2.分解点検(電動機)	高	1F	○	23回	1次系換気空調設備検査		(振動診断：1M)	
Bアニュウラス空気浄化ファン・電動機	1.機能・性能試験	高	1F	○	23回	1次系換気空調設備検査		(振動診断：1M)		
	2.分解点検(ファン)	高	260M	—	21回					
	1.機能・性能試験	高	78M	—	22回					
	2.分解点検(電動機)	高	1F	○	23回	1次系換気空調設備検査		(振動診断：1M)		
安全補機室空気浄化フィルタユニット	1.機能・性能検査(よう素フィルタ性能検査)	高	1F	○	23回	1次系換気空調設備検査				
	1.機能・性能試験	高	1F	○	23回	1次系換気空調設備検査				
	2.開放点検(フィルタ取替)	高	X**	○	23回		※よう素フィルタ性能検査結果により適宜実施			
	2.開放点検	高	4F	—	22回					

機器又は系統名	実施致(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回次)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術) (振動診断:1M)	
原子炉格納施設 [圧力低減設備その他の安全設備]	A 安全補機室空気浄化ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	23回	1次系換気空調設備検査	(振動診断:1M)	
		2. 分解点検(ファン)		260M	—	20回			
	B 安全補機室空気浄化ファン・電動機	静的触媒式水素再結合装置	1. 機能・性能試験	高	1F	○	23回	1次系換気空調設備検査	(振動診断:1M)
			2. 分解点検(ファン)		260M	—	21回		
			2. 分解点検(電動機)		78M	○	21回		
			1. 外観点検		1F	○	23回		
	MB-045	2. 機能・性能試験	高	5F	—	—	原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	21回施設定期検査より追加	
				1F	○	23回	21回施設検時に設置 21回施設定期検査より追加		
	MB-046	2. 機能・性能試験	高	5F	—	—	原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	21回施設定期検査より追加	
				1F	○	23回	21回施設検時に設置 21回施設定期検査より追加		
	MB-047	2. 機能・性能試験	高	5F	—	—	原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	21回施設定期検査より追加	
				1F	○	23回	21回施設検時に設置 21回施設定期検査より追加		
	MB-048	2. 機能・性能試験	高	5F	—	—	原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	21回施設定期検査より追加	
				1F	○	23回	21回施設検時に設置 21回施設定期検査より追加		
	MB-049	2. 機能・性能試験	高	5F	—	—	原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	21回施設定期検査より追加	
				1F	○	23回	21回施設検時に設置 21回施設定期検査より追加		
	13個	1. 機能・性能試験	高	1F	○	23回	原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	21回施設定期検査より追加	
	1式	1. 特性試験	高	13M	○	23回	計測制御系監視機能検査	21回施設検時に設置	
	原子炉格納施設[圧力低減設備その他の安全設備]その他の弁	1式	1. 機能・性能試験	高	B	○	20回	1次系弁検査 1次系安全弁検査	
					2. 分解点検	130M	○	23回	1次系逆止弁検査 1次系弁検査
原子炉格納施設[圧力低減設備その他の安全設備]その他の弁駆動部	1式	1. 機能・性能試験	高	B	○	22回	1次系弁検査		
				2. 分解点検	65M~156M	○	22回	1次系逆止弁検査	
原子炉格納施設[圧力低減設備その他の安全設備]その他機器	1式	1. 分解点検他	高	65M	○	22回			
				1. 分解点検他	65M~130M	○	23回		
その他AM(代替再循環、格納容器内注水)機器	1式	1. 分解点検他	高	65M~130M	○	23回	1次系逆止弁検査	一部BMあり	
				1. 分解点検他	130M	—	21回	12回施設検時に設置	

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定回/次回)	検査名	備考 ( ) 内は適用する設備診断技術)
原子力設備 [その他設備]	クラス1機器 (供用期間中検査対象) (重大事故等クラス2機器供用期間中検査対象含む)	1. 非破壊試験 2. 漏えい試験	高	7Y 1F	○ ○	23回 23回	クラス1機器供用期間中検査 クラス1機器供用期間中検査	ISTプログラムによる。 [別表-1]
	クラス2機器 (供用期間中検査対象) (重大事故等クラス2機器供用期間中検査対象含む)	1. 非破壊試験 2. 漏えい試験	高	10Y 10Y	○ ○	23回 23回	クラス2機器供用期間中検査 クラス2機器供用期間中検査	ISTプログラムによる。 [別表-2]
	クラス3機器 (供用期間中検査対象)	1. 非破壊試験 2. 漏えい試験	高	10Y 10Y	○ ○	23回 23回	クラス3機器供用期間中検査 クラス3機器供用期間中検査	ISTプログラムによる。 [別表-3]
	クラス1機器N1基合金使用部位 (重大事故等クラス2機器供用期間中検査対象含む)	1. 非破壊試験	高	3Y	—	23回	供用期間中特別検査のうちクラス1機器N1基合金使用部位特別検査	ISTプログラムによる。 [別表-4]
	クラス2管 (原子炉格納容器内) (重大事故等クラス2機器供用期間中検査対象含む)	1. 非破壊試験	高	25%/10Y	○	22回	供用期間中特別検査のうちクラス2管 (原子炉格納容器内) 特別検査	ISTプログラムによる。 [別表-5]
	蒸気発生器管台 (重大事故等クラス2機器供用期間中検査対象含む)	1. 非破壊試験	高	10Y	○	18回	供用期間中特別検査のうち蒸気発生器管台溶接部の健全性確認検査	ISTプログラムによる。 [別表-1]
	重大事故等クラス2機器	1. 非破壊試験 2. 漏えい試験	高	10Y 1F~10Y	○ ○	23回 23回	重大事故等クラス2機器供用期間中検査 重大事故等クラス2機器供用期間中検査	ISTプログラムによる。 [別表-7] 21回施設定期検査より追加
	重大事故等クラス3機器	1. 漏えい試験	高	10Y	—	—	重大事故等クラス3機器供用期間中検査	ISTプログラムによる。 [別表-8] プラント運転中又は定期事業者検査停止中 24回施設定期検査より設定
	クラス3機器、クラス4管、排気筒及び安全上重要なダクト耐圧部 (クラス3機器ISTは除く)	1. 外観点検	高・低	100%/5Y~100%/10Y	○	23回	構造健全性検査	
	RCPBのベント・ドレン弁の閉止栓	1. 漏えい試験	高	1F	○	23回	構造健全性検査	
	レストレイント 1. 1次冷却材管のアップ・レストレイント 2. 主蒸気配管のアップ・レストレイント 3. 主給水配管のアップ・レストレイント	1. 外観点検	高	100%/10Y	—	16回	レストレイント検査	
	原子力設備 [その他設備] その他の弁	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 1. 分解点検他 1. 分解点検他	高・低	B 130M 13M~130M 12M~156M	— — ○ ○	23回 23回 23回 23回	1次系安全弁検査 1次系逆止弁検査	
	原子力設備 [その他設備] その他の機器	1. 外観点検	高・低	100%/10Y	○	23回	耐震健全性検査	一部BMあり 一部先行実施
	原子力設備・タービン設備 [その他設備]	1. 分解点検他	高	52M~182M	○	23回	12回施設定期検査時に設置 (一部)	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回次)	検査名	備考 (○内は適用する設備診断技術)
蒸気タービン [車室、円板、隔板、噴口、翼、車軸]	高圧タービン	1. 開放点検	高	26M	-	23回	蒸気タービン開放検査	
		2. 組立状況点検		B	-	23回	蒸気タービン開放検査	
		3. 簡易点検(軸受箱内部清掃他)		13M	○	23回		
	第1低圧タービン	1. 開放点検	高	26M	○	22回	蒸気タービン開放検査	
		2. 外観点検		2F	-	23回	蒸気タービン開放検査	
		3. 簡易点検(軸受箱内部清掃他)		13M	○	23回		
	第2低圧タービン	1. 開放点検	高	26M	-	23回	蒸気タービン開放検査	
		2. 外観点検		2F	○	22回	蒸気タービン開放検査	
		3. 簡易点検(軸受箱内部清掃他)		13M	○	23回	蒸気タービン開放検査	
	第3低圧タービン	1. 開放点検	高	26M	○	22回	蒸気タービン開放検査	
		2. 外観点検		2F	-	23回	蒸気タービン開放検査	
		3. 簡易点検(軸受箱内部清掃他)		13M	○	23回		
ロータ	1. 組立状況点検	高	B	○	23回	蒸気タービン開放検査	タービン開放時期に合わせて実施。	
蒸気タービン本体及び附属設備	蒸気タービン	1. 保安装置点検	高	1F	○	23回	蒸気タービン性能検査	一部定期事業者検査起動後
		2. 負荷点検	1F	○	23回	総合荷性能検査	定期事業者検査起動後	
	#1 主蒸気止め弁	1. 開放点検	高	39M	-	22回	蒸気タービン開放検査	
		2. 組立状況点検	B	-	22回	蒸気タービン開放検査		
	#2 主蒸気止め弁	1. 開放点検	高	39M	-	22回	蒸気タービン開放検査	
		2. 組立状況点検	B	-	22回	蒸気タービン開放検査		
	#3 主蒸気止め弁	1. 開放点検	高	39M	-	22回	蒸気タービン開放検査	
		2. 組立状況点検	B	-	22回	蒸気タービン開放検査		
	#4 主蒸気止め弁	1. 開放点検	高	39M	-	22回	蒸気タービン開放検査	
		2. 組立状況点検	B	-	22回	蒸気タービン開放検査		
	#1 蒸気加減弁	1. 開放点検	高	39M	-	22回	蒸気タービン開放検査	
		2. 組立状況点検	B	-	22回	蒸気タービン開放検査		
	#2 蒸気加減弁	1. 開放点検	高	39M	-	22回	蒸気タービン開放検査	
		2. 組立状況点検	B	-	22回	蒸気タービン開放検査		
	#3 蒸気加減弁	1. 開放点検	高	39M	-	22回	蒸気タービン開放検査	
		2. 組立状況点検	B	-	22回	蒸気タービン開放検査		
	#4 蒸気加減弁	1. 開放点検	高	39M	-	22回	蒸気タービン開放検査	
		2. 組立状況点検	B	-	22回	蒸気タービン開放検査		
	A 1 再熱蒸気止め弁	1. 開放点検	高	39M	-	23回	蒸気タービン開放検査	
		2. 組立状況点検	B	-	22回	蒸気タービン開放検査		
	A 2 再熱蒸気止め弁	1. 開放点検	高	39M	○	21回	蒸気タービン開放検査	
		2. 組立状況点検	B	-	22回	蒸気タービン開放検査		
	A 3 再熱蒸気止め弁	1. 開放点検	高	39M	-	23回	蒸気タービン開放検査	
		2. 組立状況点検	B	-	22回	蒸気タービン開放検査		
B 1 再熱蒸気止め弁	1. 開放点検	高	39M	-	23回	蒸気タービン開放検査		
	2. 組立状況点検	B	-	22回	蒸気タービン開放検査			
B 2 再熱蒸気止め弁	1. 開放点検	高	39M	○	21回	蒸気タービン開放検査		
	2. 組立状況点検	B	-	22回	蒸気タービン開放検査			
B 3 再熱蒸気止め弁	1. 開放点検	高	39M	-	23回	蒸気タービン開放検査		
	2. 組立状況点検	B	-	22回	蒸気タービン開放検査			



機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回次)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術)	
蒸気タービン [調速装置及び非常調速装置並びに調速装置で制御される主要弁]	A 1インターセプト弁	1. 開放点検	高	39M	—	23回	蒸気タービン開放検査		
	A 2インターセプト弁	1. 開放点検	高	39M	○	21回	蒸気タービン開放検査		
	A 3インターセプト弁	1. 開放点検	高	39M	—	23回	蒸気タービン開放検査		
	B 1インターセプト弁	1. 開放点検	高	39M	—	23回	蒸気タービン開放検査		
	B 2インターセプト弁	1. 開放点検	高	39M	○	21回	蒸気タービン開放検査		
	B 3インターセプト弁	1. 開放点検	高	39M	○	21回	蒸気タービン開放検査		
	調速装置(非常調速装置) 復水、循環水系統 復水器	1. 外観点検	1. 機能・性能試験(ポンプ、電動機含む)	高	1F	○	23回	蒸気タービン閉扉設備機能検査	定期事業者検査起動後
		1. 開放点検	1. 開放点検	高	13M	○	23回	蒸気タービン開放検査	
		2. 防汚塗装	2. 防汚塗装	高	26M	○	23回		
		1. 分解点検(電動機)	1. 分解点検(電動機)	高	26M	○	22回		
		2. 簡易点検(翼油ユニット作動油清浄度管理)	2. 簡易点検(翼油ユニット作動油清浄度管理)	高	104M	—	22回		
		2. 簡易点検(翼油ユニット作動油清浄度管理)	2. 簡易点検(翼油ユニット作動油清浄度管理)	高	26M	○	22回		
B 循環水ポンプ・電動機	1. 分解点検(電動機)	1. 分解点検(電動機)	高	26M	—	23回			
	2. 簡易点検(翼油ユニット作動油清浄度管理)	2. 簡易点検(翼油ユニット作動油清浄度管理)	高	104M	—	23回			
	2. 簡易点検(翼油ユニット作動油清浄度管理)	2. 簡易点検(翼油ユニット作動油清浄度管理)	高	26M	—	23回			
	1. 分解点検(電動機)	1. 分解点検(電動機)	高	39M	○	21回		(振動診断：3M)	
	2. 簡易点検(潤滑油入替他)	2. 簡易点検(潤滑油入替他)	高	CBM	—	19回			
	2. 簡易点検(潤滑油入替他)	2. 簡易点検(潤滑油入替他)	高	13M	○	23回			
A 復水器真空ポンプ・電動機	1. 分解点検(電動機)	1. 分解点検(電動機)	高	39M	—	23回			
	1. 分解点検(電動機)	1. 分解点検(電動機)	高	CBM	—	11回		(振動診断：3M)	
	2. 簡易点検(潤滑油入替他)	2. 簡易点検(潤滑油入替他)	高	13M	○	23回			
	1. 分解点検(電動機)	1. 分解点検(電動機)	高	39M	—	22回			
	1. 分解点検(電動機)	1. 分解点検(電動機)	高	CBM	—	16回			
	2. 簡易点検(潤滑油入替他)	2. 簡易点検(潤滑油入替他)	高	13M	○	23回		(振動診断：3M)	
C 復水器真空ポンプ・電動機	1. 分解点検(電動機)	1. 分解点検(電動機)	高	39M	—	23回			
	1. 分解点検(電動機)	1. 分解点検(電動機)	高	104M	—	19回		(振動診断：6M(対象：電動機))	
	2. 簡易点検(ストレーナー清掃)	2. 簡易点検(ストレーナー清掃)	高	13M	○	23回			
	1. 分解点検(電動機)	1. 分解点検(電動機)	高	39M	○	21回		(振動診断：6M(対象：電動機))	
	1. 分解点検(電動機)	1. 分解点検(電動機)	高	104M	—	20回		(振動診断：6M(対象：電動機))	
	2. 簡易点検(ストレーナー清掃)	2. 簡易点検(ストレーナー清掃)	高	13M	○	23回		(振動診断：6M(対象：電動機))	
A 復水ポンプ・電動機	1. 分解点検(電動機)	1. 分解点検(電動機)	高	39M	○	21回			
	1. 分解点検(電動機)	1. 分解点検(電動機)	高	104M	—	20回			
	2. 簡易点検(ストレーナー清掃)	2. 簡易点検(ストレーナー清掃)	高	13M	○	23回			
	1. 分解点検(電動機)	1. 分解点検(電動機)	高	39M	○	21回			
	1. 分解点検(電動機)	1. 分解点検(電動機)	高	104M	—	22回			
	2. 簡易点検(ストレーナー清掃)	2. 簡易点検(ストレーナー清掃)	高	13M	○	23回			
蒸気タービン [復水器] その他機器 1式	1. 分解点検他	1. 分解点検他	高	78M~260M	○	23回			
	1. 分解点検他	1. 分解点検他	低	13M~260M	○	23回		一部BMあり	

機器又は系統名	実施致(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回次)	検査名	備考 ( )内は適用する設備(診断技術)	
蒸気タービン [蒸気タービンに附属する熱交換器]	3 A 湿分分離加熱器 胴側 3 A 湿分分離加熱器 管側 (発電機側) 3 A 湿分分離加熱器 管側 (調速機側)	1. 開放点検	高	26M	○	22回	蒸気タービン開放検査		
		1. 開放点検	高	130M	—	18回	蒸気タービン開放検査		
		2. 非破壊試験	高	130M	—	18回			
	3 B 湿分分離加熱器 胴側 3 B 湿分分離加熱器 管側 (発電機側)	1. 開放点検	高	130M	—	—	20回	蒸気タービン開放検査	
		2. 非破壊試験	高	130M	—	—	20回		
		1. 開放点検	高	26M	—	—	23回	蒸気タービン開放検査	
	3 B 湿分分離加熱器 管側 (発電機側)	1. 開放点検	高	130M	—	—	19回	蒸気タービン開放検査	
		2. 非破壊試験	高	130M	—	—	19回		
		1. 開放点検	高	130M	—	—	21回	蒸気タービン開放検査	
	A 脱気器	1. 開放点検	高	130M	—	—	21回		
		2. 非破壊試験	高	130M	—	—	21回		
		1. 開放点検	高	26M	○	—	22回	2次系容器検査	
	B 脱気器	1. 開放点検	高	26M	—	—	23回	2次系容器検査	
		1. 開放点検	高	13M	○	—	23回	2次系容器検査	
		1. 開放点検	高	65M	—	—	22回	2次系熱交換器検査	
	第1 A 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	B	—	—	22回		
		2. 漏えい試験	高	130M	—	—	17回		
		3. 非破壊試験	高	130M	—	—	23回	2次系熱交換器検査	
	第1 B 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	65M	—	—	23回		
		2. 漏えい試験	高	B	—	—	23回		
		3. 非破壊試験	高	130M	—	—	18回		
	第1 C 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	65M	○	—	19回	2次系熱交換器検査	
		2. 漏えい試験	高	B	○	—	19回		
		3. 非破壊試験	高	130M	—	—	19回		
	第2 A 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	65M	—	—	22回	2次系熱交換器検査	
		2. 漏えい試験	高	B	—	—	22回		
		3. 非破壊試験	高	130M	—	—	17回		
	第2 B 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	65M	—	—	23回	2次系熱交換器検査	
		2. 漏えい試験	高	B	—	—	23回		
		3. 非破壊試験	高	130M	—	—	18回		
	第2 C 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	65M	○	—	19回	2次系熱交換器検査	
		2. 漏えい試験	高	B	○	—	19回		
		3. 非破壊試験	高	130M	—	—	19回		
	第3 A 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	65M	—	—	23回	2次系熱交換器検査	
		2. 漏えい試験	高	B	—	—	23回		
		3. 非破壊試験	高	130M	—	—	18回		
第3 B 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	65M	○	—	19回	2次系熱交換器検査		
	2. 漏えい試験	高	B	○	—	19回			
	3. 非破壊試験	高	130M	—	—	19回			
第3 C 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	65M	—	—	20回	2次系熱交換器検査		
	2. 漏えい試験	高	B	—	—	20回			
	3. 非破壊試験	高	130M	—	—	20回			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回次)	検査名	備考 ( )内は適用する設備(診断技術)			
蒸気タービン 〔蒸気タービンに附属する熱交換器〕	第4 A 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	65M	—	23回	2次系熱交換器検査				
		2. 漏えい試験		B	—	23回					
		3. 非破壊試験		130M	—	18回					
	第4 B 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	65M	○	19回	2次系熱交換器検査				
		2. 漏えい試験		B	—	19回					
		3. 非破壊試験		130M	—	19回					
	第4 C 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	65M	—	20回	2次系熱交換器検査				
		2. 漏えい試験		B	—	20回					
		3. 非破壊試験		130M	—	20回					
	第6 A 高圧給水加熱器	1. 開放点検	高	130M	—	19回	2次系熱交換器検査				
		2. 漏えい試験		B	—	19回					
		3. 非破壊試験		130M	—	19回					
	第6 B 高圧給水加熱器	1. 開放点検	高	130M	—	17回	2次系熱交換器検査				
		2. 漏えい試験		B	—	19回					
		3. 非破壊試験		130M	—	19回					
グラウンド蒸気復水器	1. 開放点検	高	65M	—	23回	2次系熱交換器検査					
	2. 漏えい試験		B	—	23回						
	3. 非破壊試験		130M	—	18回						
蒸気タービン 〔蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備〕	給水、復水系統	1. 機能・性能試験(ポンプ、電動機含む)	高	1F	○	23回	蒸気タービン附属設備機能検査	定期事業者検査起動後			
		Aタービン動主給水ポンプ		1. 機能・性能試験(ポンプ)	高	B			○	22回	2次系ポンプ機能検査
				1. 機能・性能試験(駆動タービン)		B			○	22回	
	2. 分解点検(ポンプ)		26M	○		22回					
	Bタービン動主給水ポンプ	2. 分解点検(駆動タービン)	高	26M	○	22回	2次系ポンプ分解検査				
		3. 簡易点検(オイルフィルタ取替)		13M	○	23回					
		1. 機能・性能試験(ポンプ)		B	—	23回					
	電動主給水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験(駆動タービン)	高	B	—	23回	2次系ポンプ機能検査				
		2. 分解点検(ポンプ)		26M	—	23回					
		2. 分解点検(駆動タービン)		26M	—	23回					
		3. 簡易点検(オイルフィルタ取替)	高	13M	○	23回	2次系ポンプ分解検査				
		1. 分解点検(ポンプ)		130M	—	20回					
		1. 分解点検(電動機)		156M	—	22回					
		2. 簡易点検(潤滑油入替他)		13M	○	23回					

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回次)	検査名	備考 ( )内は適用する 設備(診断技術)
蒸気タービン 〔蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備〕	A タービン動主給水ブースタポンプ	1. 分解点検	高	52M	○	20回		
		2. 簡易点検(ストレナーナ点検)		13M	○	23回		
	B タービン動主給水ブースタポンプ	1. 分解点検	高	52M	—	23回		
		2. 簡易点検(ストレナーナ点検)		13M	○	23回		
	電動主給水ブースタポンプ	1. 分解点検	高	130M	—	20回		
		2. 簡易点検(潤滑油入替他)		13M	○	23回		
	A 復水ブースタポンプ・電動機	1. 分解点検(ポンプ)	高	39M	—	22回		
		2. 簡易点検(電動機)		104M	—	21回		
	B 復水ブースタポンプ・電動機	1. 分解点検(潤滑油入替他)	高	13M	○	23回		
		2. 簡易点検(ポンプ)		39M	—	23回		
	C 復水ブースタポンプ・電動機	1. 分解点検(電動機)	高	104M	—	22回		
		2. 簡易点検(潤滑油入替他)		13M	○	23回		
	A 復水脱塩塔	1. 開放点検	高	130M	—	21回		2次系容器検査
		2. 簡易点検		130M	—	22回		
	B 復水脱塩塔	1. 開放点検	高	130M	—	22回		2次系容器検査
		2. 簡易点検		130M	—	23回		
	C 復水脱塩塔	1. 開放点検	高	130M	○	14回		2次系容器検査
		2. 簡易点検		130M	—	15回		
	D 復水脱塩塔	1. 開放点検	高	130M	—	17回		2次系容器検査
		2. 簡易点検		130M	○	23回		
E 復水脱塩塔	1. 開放点検	高	65M~260M	○	23回		一部先行実施	
	2. 簡易点検(通気管金網清掃)		13M~260M	○	23回			
蒸気タービン〔蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備〕その他機器	1. 分解点検他	高	13M	○	23回		一部先行実施	
	2. 簡易点検他		13M	○	23回			
主な配管(主蒸気系統・抽気系統)	1. 開放点検	高	IF	○	23回		蒸気タービン開放検査	
	2. 非破壊試験		陶厚管理指針による	○	23回			
2次系配管他(上記以外の主蒸気系統・復水給水系統・抽気系統・ドレン系統・復水系統・その他系統)※ ※配管の他、ポンプ、熱交換器、弁等を含む(外観点検のみ)	1. 外観点検	高・低	100%/10Y	○	23回		2次系配管検査	
	2. 非破壊試験		肉厚管理指針による	○	23回			

機器又は系統名	実施致(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回次)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術)	
蒸気タービン [その他設備]	タービンバイパス弁	15個	高	1F 26M～52M 26M	○	23回	タービンバイパス弁機能検査		
		タービンバイパス弁駆動部	15個	高	13M 13M	○	23回		
			蒸気タービン [その他設備] その他の弁	1式	高・低	B	○	23回	1次系安全弁検査 2次系弁検査 2次系安全弁検査 1次系逆止弁検査 2次系弁検査
	蒸気タービン [その他設備] その他の弁 駆動部	1式	高	104M～130M 130M	○	23回			
		蒸気タービン [その他設備] その他の弁 駆動部	1式	高	B 182M	○	16回	2次系弁検査	
			蒸気タービン [その他設備] その他の機器	1式	高	52M 13M～260M	○	22回	
	補助ボイラー	【補助ボイラー】 筒燃器 管寄せ及び管 安全弁 ボイラーに付属する給水設備 ボイラーに付属する通風設備 ボイラーに付属する管等 油燃焼用機器	1式	低	120M※1	○	35回※2	補助ボイラー開放検査	保全の有効性評価結果No.23の反映
			1式	低	117M～240M	○	33回※		一部BMあり 一部先行実施 保全の有効性評価結果No.24,25,26の反映
			1式	低	B※1	○	35回※2	補助ボイラー性能検査 補助ボイラー開放検査	先行実施 ※1：前回点検後の運転時間が4,000時間、又は起動回数が120回に達すると見込まれる時期までに実施する。 ※2：ボイラー回次、今回は36回
			1式	低	1Y 12M～120M	○	35回※		先行実施 ※ボイラー回次、今回は36回
			1式	低	120M	○	26回※		先行実施 ※ボイラー回次、今回は36回
	【補助ボイラーに属する燃料設備】 燃料運搬設備に係る油の輸送管 燃料貯蔵設備に係る油タンク	【補助ボイラーに属するばい塵処理設備】 ・補助ボイラー集じん機	1式	低	120M～240M 12M	○	30回※		先行実施 ※ボイラー回次、今回は36回
			1式	低	12M～240M	○	35回※		先行実施 ※ボイラー回次、今回は36回
			1式	低	12M～240M	○	35回※		先行実施 ※ボイラー回次、今回は36回
			1式	低	12M～240M	○	35回※		先行実施 ※ボイラー回次、今回は36回
1式			低	12M～240M	○	35回※		先行実施 ※ボイラー回次、今回は36回	

機器又は系統名	実施致(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回次)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術)
その他発電用原子炉の附属施設 [浸水防護施設]	浸水防止蓋	1式	高	1F	○	23回		21回施設定期検時に設置
	伝播防止堰	1式	高	10Y	—	—		21回施設定期検時に設置
	水密扉	1式	高	1Y	○	23回		プラント運転中又は定期事業者検査 停止中 21回施設定期検時に設置
	2次系計測制御装置	1式	高	13M	○	23回		21回施設定期検時に設置
	津波監視カメラ	2台	高	1F	○	23回		計測制御系監視機能検査
	蒸気漏えい検知システム	1式	低	1F	○	23回		21回施設定期検時に設置
	湧水ピット排水系統		低	B※	○	22回		21回施設定期検時に設置 ※ポンプまたは電動機の分解点検に 合わせて実施 21回施設定期検査より追加
	湧水サンプポンプ(吐出ラインを含む)		低	1Y	○	23回		(振動診断:1Y(対象:電動 機)) 22回 プラント運転中又は定期事業者検査 停止中
	その他発電用原子炉の附属施設[浸水防 護施設]その他の弁	1式	低	B	—	23回		21回施設定期検査より追加
	その他発電用原子炉の附属施設[浸水防 護施設]その他の弁駆動部	1式	低	182M	—	23回		浸水防護設備検査
その他発電用原子炉の附属施設 [常用電源設備]	その他発電用原子炉の附属施設[浸水防 護施設]その他の機器	1式	高・低	1F~8F	○	23回		21回施設定期検査より追加 21回施設定期検時に設置
	発電機設備	1式	高・低	13M~208M	○	23回		プラント運転中又は定期事業者検査 停止中 21回施設定期検時に設置
	変圧器設備	1式	高	39M~156M	○	23回		
	シヤ断器	1式	高	52M~156M	○	22回		
	その他発電用原子炉の附属施設[常用電 源設備]その他の機器	1式	高	26M~104M	○	22回		
	消火水バックアップポンプ・電動機	2台	低	13M~240M	○	23回		火災防護設備検査
	煙等流入防止装置	1式	低	B※ 10F 6F	— — —	— — —		※ポンプまたは電動機の分解点検に 合わせて実施 21回施設定期検時に設置 21回施設定期検査より追加
	その他発電用原子炉の附属施設[火災防 護施設]その他の機器	1式	高・低	260M	—	—		21回施設定期検時に設置 21回施設定期検査より追加 1次系弁検査
				5Y~10Y	○	22回		プラント運転中又は定期事業者検査 停止中 21回施設定期検時に設置

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回次)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術)	
非常用電源設備 [非常用発電装置]	ディーゼル発電機	2台	高	1F	○	23回	非常用予備発電装置機能検査(ディーゼル発電機の作動検査) 非常用予備発電装置機能検査(ディーゼル発電機定格容量検査)		
	安全注入信号及び格納容器スプレイ信号発信時にディーゼル発電機に電源を求める機器	45台	高	1F	○	23回	非常用予備発電装置機能検査(ディーゼル発電機の作動検査)		
	Aディーゼル機関のシリンダ(ピストン、ピストン連接棒、シリンダカバ、クランク軸)	No. 1, 8	1. 分解点検	高	130M	—	21回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
		No. 2, 3, 9, 10	1. 分解点検	高	130M	—	23回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
		No. 4, 5, 11, 12	1. 分解点検	高	130M	—	18回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
		No. 6, 13	1. 分解点検	高	130M	—	20回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
	Bディーゼル機関のシリンダ(ピストン、ピストン連接棒、シリンダカバ、クランク軸)	No. 7, 14	1. 分解点検	高	130M	—	21回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
		No. 1, 8	1. 分解点検	高	130M	—	22回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
		No. 2, 3, 9, 10	1. 分解点検	高	130M	○	17回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
		No. 4, 5, 11, 12	1. 分解点検	高	130M	—	19回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
	Aディーゼル機関の吸気弁	No. 6, 13	1. 分解点検	高	130M	—	21回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
	Bディーゼル機関の吸気弁	No. 7, 14	1. 分解点検	高	130M	—	21回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
	Aディーゼル機関の排気弁		1. 分解点検	高	26M	—	23回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
	Bディーゼル機関の排気弁		1. 分解点検	高	26M	○	22回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
	Aディーゼル機関の非気弁		1. 分解点検	高	26M	—	23回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
	Bディーゼル機関の非気弁		1. 分解点検	高	26M	○	22回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
	Aディーゼル機関の燃料噴射弁		1. 分解点検	高	13M	○	23回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
	Bディーゼル機関の燃料噴射弁		1. 分解点検	高	13M	○	23回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
	ディーゼル発電機付属設備	1式	1. 外観点検	高	1F	○	23回	非常用予備発電機付属設備検査	
			2. 非破壊試験		13M~78M	○	23回	非常用予備発電機付属設備検査	
		3. 機能・性能試験		1F~10F	○	23回	非常用予備発電機付属設備検査		
		4. 特性試験	高・低	13M	○	23回	非常用予備発電機付属設備検査		

機器又は系統名	実施設 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する 設備診断技術)	
非常用電源設備 [非常用発電装置]	空冷式非常用発電装置	1. 機能・性能試験	高	1F~10F	○	23回	その他非常用発電装置の機能検査 その他非常用発電装置の付属設備検査	21回施設定検時に設置	
		2. 取替他		130M	-	-		保全の有効性評価結果No. 31, 32, 33 の反映	
		3. 発電機ベアリング交換		195M	-	-		保全の有効性評価結果No. 34の反映	
	可搬式代替低圧注水ポンプ用電源車	3台	1. 機能・性能試験	高	1Y	○	23回	可搬式代替電源設備検査	プラント運転中又は定期事業者検査 停止中 21回施設定検時に設置 21回施設定期検査より追加
			1. 機能・性能試験	高	1Y	-	-		プラント運転中又は定期事業者検査 停止中 2019年6月に設置
			1. 機能・性能試験	高	1Y	○	23回	可搬式代替電源設備検査	プラント運転中又は定期事業者検査 停止中 21回施設定検時に設置 21回施設定期検査より追加
	タンクローリー	3台	1. 機能・性能試験	高	1Y	○	23回	可搬式代替電源設備検査	プラント運転中又は定期事業者検査 停止中 21回施設定検時に設置 21回施設定期検査より追加
			1. 分解点検他	高	13M~208M	○	23回		保全の有効性評価結果 No. 27, 28, 29, 30の反映
			1. 分解点検他	低	13M~182M	○	23回		一部BMあり
	非常用電源設備 [その他の電源装置]	直流電源装置蓄電池	1. 機能・性能試験	高	1F	○	23回	直流電源系機能検査	21回施設定期検査より追加
1. 機能・性能試験 (作動機能)				1F	○	23回	直流電源系作動検査		
計器用電源		1. 簡易点検 (充電)		2回/Y	○	23回		プラント運転中	
		1. 機能・性能試験	高	1F	○	23回	インバータ機能検査		
可搬式バッテリー (加圧器逃がし弁用)		1. 簡易点検 (特性試験)	高	13M	○	23回			
		1. 機能・性能試験	高	1F	○	23回		21回施設定検時に設置	
可搬式整流器		2. 外観点検	高	1F	○	23回			
		1. 機能・性能試験	高	1F	○	23回		21回施設定検時に設置	
非常用電源設備 [その他の電源装置] の他機器		1式	1. 分解点検他	高	6M~180M	○	23回		プラント運転中又は定期事業者検査 停止中
			1. 分解点検他	低	13M	○	23回		



機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回次)	検査名	備考 (○内は適用する設備診断技術)	
土木建築設備	原子炉建屋	1式	高・低	1F	○	23回		プラント運転中又は定期事業者検査 停止中	
	外周建屋	1式	高	1Y	○	23回		プラント運転中又は定期事業者検査 停止中	
	中間建屋	1式	高	1Y	○	23回		プラント運転中又は定期事業者検査 停止中	
	原子炉補助建屋	1式	高	1Y	○	23回		プラント運転中又は定期事業者検査 停止中	
	燃料取扱建屋	1式	高	1Y	○	23回		プラント運転中又は定期事業者検査 停止中	
	制御建屋	1式	高	1Y	○	23回		プラント運転中又は定期事業者検査 停止中	
	燃料取替用水タンク建屋	1式	高	1Y	○	23回		プラント運転中又は定期事業者検査 停止中	
	ディーゼル発電機建屋	1式	高	1Y	○	23回		プラント運転中又は定期事業者検査 停止中	
	1・2号機原子炉補助建屋	1式	高	1Y	○	23回		プラント運転中又は定期事業者検査 停止中	
	固体廃棄物貯蔵庫	1式	低	1Y	○	23回		プラント運転中又は定期事業者検査 停止中	
	取水口設備	1式	高	1Y~1F	○	23回		プラント運転中又は定期事業者検査 停止中	
	連続地中壁	1式	低	1Y	○	23回		プラント運転中又は定期事業者検査 停止中 21回施設定検時に設置	
	抑止ぐい	1式	低	1Y	○	23回		プラント運転中又は定期事業者検査 停止中 21回施設定検時に設置	
	敷地内土木構造物	原子炉及びその附属設備(補助ボイラー及び非常用予備発電装置を除く)		高	1F	○	23回	総合負荷性能検査	定期事業者検査起動後
		海水取水トンネル	1式	高	4Y	○	23回		
ガンリオン用ドラム缶		68個	高	2回/Y	○	23回		プラント運転中又は定期事業者検査 停止中	